

共済 2024 防災企画「# 今日から防災」 報告書

日付：2024 年 7 月 24 日（水）

文責：七條佳奈

1. はじめに

本報告書は、北海道大学生生活協同組合学生組織委員会が企画し、NHK 札幌放送局と協力して実施した防災企画「# 今日から防災」に関する事項をまとめたものである。以下、北海道大学生生活協同組合を北大生協と略すものとする。

2. 目次

1. はじめに
2. 目次
3. 企画を行うに至るまでの経緯
4. 企画目的
5. 基本事項
6. 企画内容
7. 結果と分析
8. 各種アンケートの結果と反省
9. おわりに

3. 企画を行うに至るまでの経緯

昨年度実施した自転車点検会でハザードマップを目撃した NHK の方から、防災関係の情報を活用してほしいという提案があった。

また、昨年度の組合員研修セミナーに参加した学生委員は、大学生協 2030Goals の「求められる大学生協の変化」の一つである「地球規模の社会的問題」が北大生協の学生組織委員会（以下、GI）ではあまり意識できていなかったことに気付いた。そこで、今年度は、社会問題を取り上げた活動を行いたいと思い、「防災」を主軸とした企画を行うことにした。

なお、本企画は共済 2024 に属する 2・3 年目（上年目）のみで計画・実施した。

参照：[共済 2023 第 10 回会議 会議レジュメ](#)

4. 企画目的

共済 2024 全体方針が未定であったため、本企画のみに適応される独自の企画目的を作成した。

●企画目的の位置付け

企画を実施する上で対象者になってほしい姿(以下、目指すこと)、及び企画者が意識すべきこと(以下、大切にすること)をまとめた。

●対象者

主に北海道大学に在学する大学生及び大学院生とする。

●目指すこと

①災害を自分事として捉え、防災に対する知識を楽しく身につけてもらう

大学生活を送っていても、災害が身近なものであると感じる機会はあまりないが、災害はいつ起こるか分からない。災害を自分事として捉えてもらえるように、参加型の企画などを交えながら、楽しく防災について学んでもらう機会を設けることが目的である。

②普段から準備をしておくことで、災害発生時に実践できるようにしてもらう

企画を通して学んだことを実際に行動に移してほしいという想いで設けた目的である。知識を生かして、防災バッグ（非常用持ち出し袋）を用意するなど、日頃から防災に力を入れて生活を送ってほしい。また、万一災害が起こった際、命を守る行動をとれるようになってもらうことも目的の一つである。

③防災の輪を広げる

初めに学生委員が防災の知識を身につけ、企画を通して参加者に防災の意識を高めてもらう。その後、参加者の家族や友人など、周囲の人に防災の知識を伝えていってもらい、防災の輪が広がっていくことを最終目的とする。

④GI について知ってもらう

GI の存在を知らない人に、その存在を認知してもらうとともに、今後の学生委員会の活動に積極的に参加してもらうことが目的である。

●大切にすること

①正確な知識・情報をまずは自分たちが身につけ、伝えていく(目指すこと③に対応)

企画を行う学生委員自体が、そもそも防災の意識を高く持たなければならない。不確かな

情報ではなく、信頼できる情報を集め、企画の参加者に伝える必要がある。

②外部との綿密な連携を行う(目指すことに対応なし)

本企画は、生協職員だけでなく、外部機関である NHK にご協力していただいて行うものである。情報の共有や報告・連絡・相談をしっかりと早めに行う必要がある。

③計画立てて※情報の宣伝(以下、情宣)を行う(目指すこと③、④に対応)

これまで行ってきた様々な企画からも、前もって企画の情宣をしっかり行う必要を痛感している。より多くの方に参加してもらい、防災の輪を広げるだけでなく、GI の知名度も上げていきたい。また、情宣に関しても早めを意識して取り組む予定である。

※GI では企画を周知することを情宣と呼ぶ。

参照：[防災企画 企画目的ペタリ](#)

[共済 2024 第 1 回会議 会議レジュメ&議事録](#)

[共済 2024 防災企画 具体化概要提案](#)

5. 基本事項

企画名：＃今日から防災

協力：NHK 札幌放送局 メディアセンター 視聴者リレーション

●GI 向け防災講習会

日時：2024 年 5 月 31 日（金） 18:35~19:05（30 分間）

場所：[北海道大学生生活協同組合生協会館](#) 4 階 学生委員会室

参加者：北大生協 GI 学生委員 約 50 名

●非常食販売

日時：2024 年 6 月 17 日（月）～2024 年 6 月 28 日（金）

場所：[福利厚生会館](#) 2 階 購買北部店

●防災企画

日時：2024 年 6 月 19 日（水）・20 日（木）

開催時間：両日 10:30～16:30

場所：[福利厚生会館](#) 2 階 トラベルセンター北部店

参加者想定：1 日 100 人（2 日間合計 200 人）

6. 企画内容

●GI 向け防災講習会

- ・NHK 札幌局の方に来ていただき、GI 向け防災講習会を行っていただいた。
- ・スライドや動画による説明だった。
- ・後発地震などの危険性を学んだ。
- ・NHK のクリアファイルやチラシ、そなえ丸のポンチョをいただいた。

参照：[防災講習会用 Power Point](#)

●非常食販売（担当者：七條）

- ・売上個数を 1 日単位で記録した。
- ・販売期間を企画の前後にすることで、売上個数から防災企画の影響度合いを調べた。
- ・北大生協購買部北部店、中島副店長に商品の手配をしていただいた。
- ・取扱い可能な商品や類似商品の売上個数に関してメールにて教えていただいた。5 月 24 日（金）にて対面で打ち合わせを行い、仕入れる商品や個数を決定した。
- ・商品陳列用のカートを用いて特設ブースを設置した。
- ・6 月 14 日（金）及び 6 月 17 日（月）にカートの装飾を行った。
- ・カートは、店内の中央部分に設置していたが、6 月 18 日（火）に場所を移動させ、入口付近に設置した（1 日目の非常食の売上が芳しくなかったため）。
- ・ホリカフーズの牛すき焼きは、商品の到着が遅れたため、6 月 18 日（火）からの販売となった。
- ・6 月 28 日（金）16:30 頃に、カートから棚へと販売場所を変えた。28 日以降も残りの商品を販売することになった。装飾品は撤去せず、そのまま販売した。

<販売商品・方法について>

- ・販売商品・注文数・販売価格（北大生協の組合員価格）などは、以下の通り。

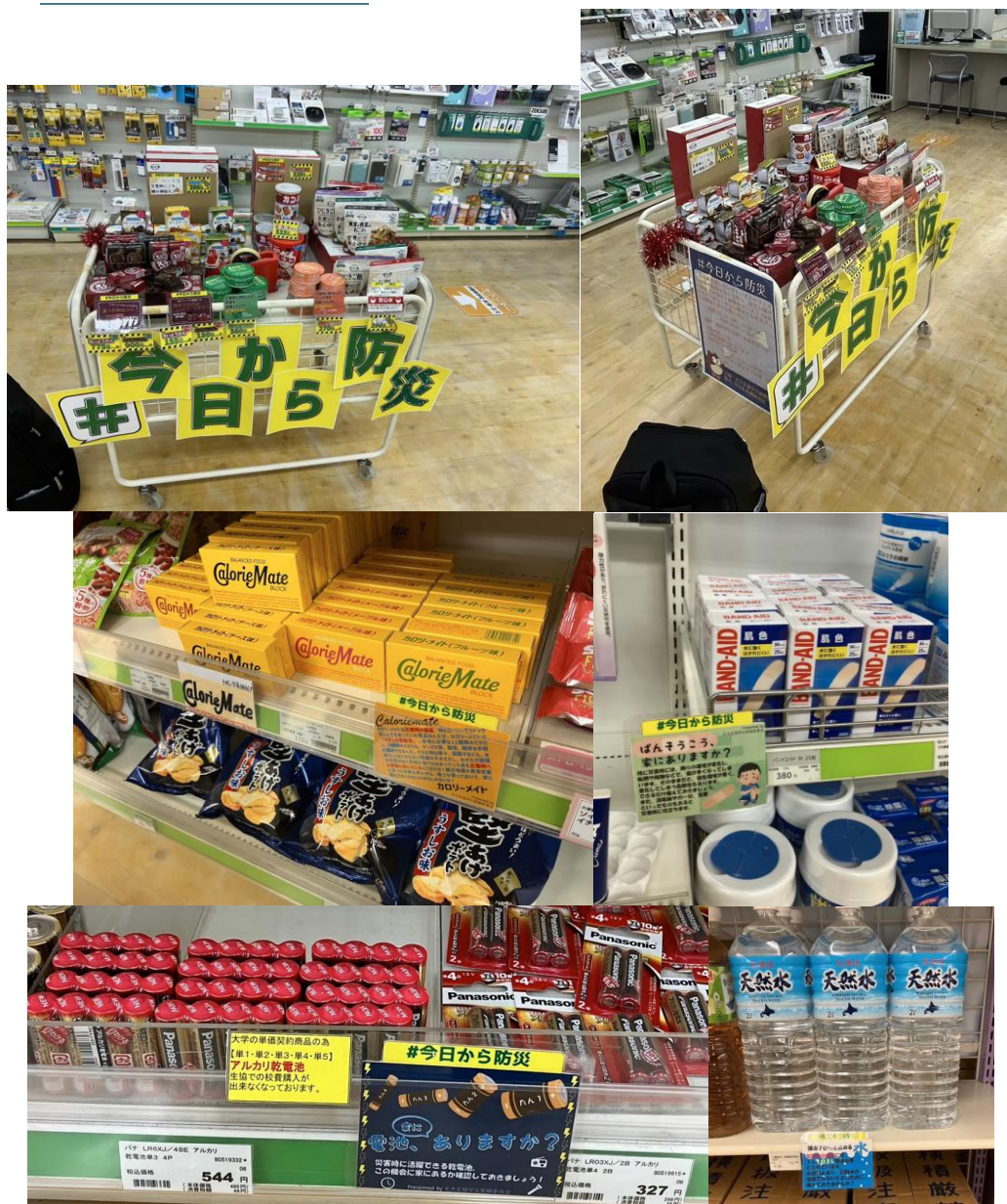
注文数	当生協で準備出来る商品	注文単位(個)	販売組価(円)	注文価格	税率
4	アルファード食品 非常食安心米セット9食入り	9	396	3,564	8%
8	井村屋 えいようかんチョコ	5	180	900	8%
8	井村屋 えいようかん	5	155	775	8%
5	乾パン	1	320	320	8%
0	カロリーメイト 各種2本入り	1	112	112	8%
1	江崎グリコ ビスコ保存缶	1	533	533	8%
10	ホリカフーズ 非常用食料品 ポテトツナサラダ	1	360	360	8%
10	ホリカフーズ 非常用食料品 牛肉すきやき	1	370	370	8%
10	ホリカフーズ とりそば	1	270	270	8%
15	チーズケーキ	1	390	390	8%
15	ガトーショコラ	1	390	390	8%
15	抹茶チーズケーキ	1	390	390	8%

- ・安心米は、白飯 3 食、わかめ、ひじき、きのこ各種 2 食のアソート商品であったため、ばら売りを行った。
- ・えいようかんは、ばら売りと箱売り（5 個入り）を行った。

・カロリーメイトは、すでに購買で売られている商品に防災企画用のPOPをつける形での販売となった。

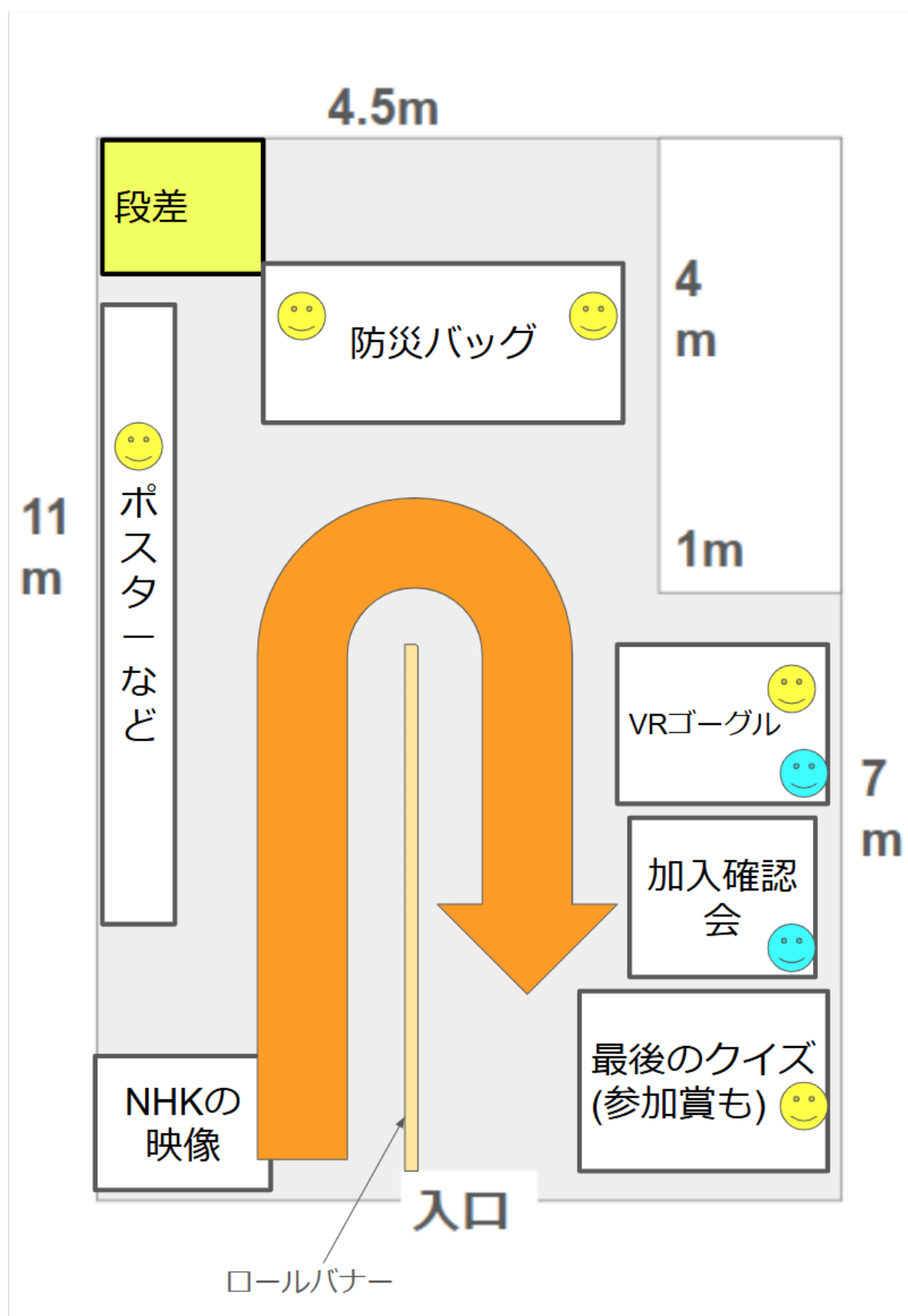
・水、乾電池、絆創膏に関しても、防災バッグに入れておくことができるものなので、すでに購買で売られている商品に防災企画用のPOPをつける形で企画と絡めて販売した。なお、これらの商品は普段売られている場所から移動させずに販売した。

参照：[防災企画用 販売商品一覧](#)



●防災企画

<会場配置図> @北部トラベルセンター奥







<災害に関する動画>（担当者：七條）

- ・ NHK ご協力の元、災害に関する動画をループ再生した。
- ・ 動画の内容は以下の通り↓
 - 「備えが大事!北海道・三陸沖後発地震注意情報」(地震)(A)
 - 「首都直下地震 液状化にも注意!」(地震)(B)
 - 「水害時の教訓「避難スイッチ」を決めよう」(氾濫・浸水・洪水)(C)
 - 「防災の知恵 大雨で洪水!『キキクル』が紫なら避難」(氾濫・浸水・洪水)(D)
- ・ 動画の順番は、A→C→D→B 。ループ化もしていただいた。
- ・ 映像を映し出す媒体(HDMI が使えるもの)についても NHK から拝借した。

参照：[災害に関する動画のリスト](#)



<防災バッグ競争> (担当者：櫛井・中山)





—ゲームの流れ—

①防災バッグを2個用意

防災バッグの中に入れる物品(必要そうなものばかり)を机の上などに広げて置いておく
このとき、各物品には点数がつけられているが、参加者には伝えない
→防災時における優先度の違いにより、点数をつける

②参加者に、物品を防災バッグに詰め込んでもらう

ただし、入れるものの個数と時間に制限を設ける

③点数をスタッフが集計している間に、参加者に物品の解説用紙を配布し、読んでもらう

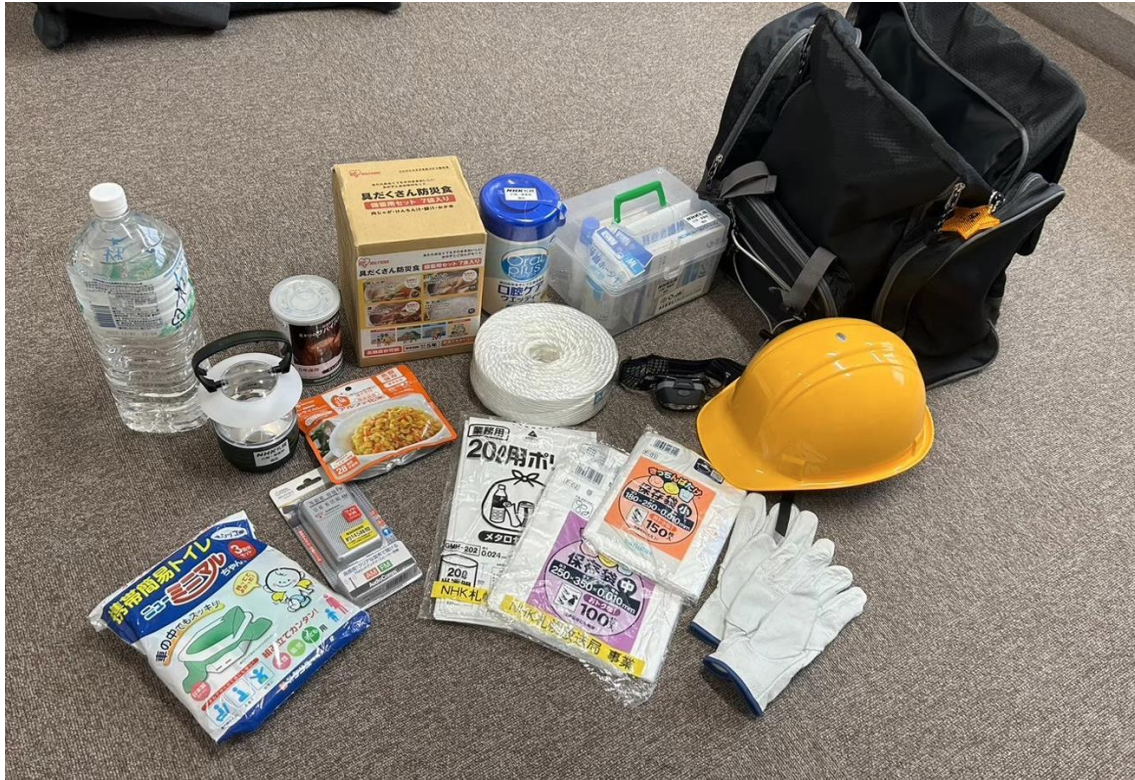
④点数の発表と物品に関する説明を行う

—備考—

- ・参加者同士で点数を競ってもらう形式
 - ・1競争約5分。入れる物品の上限個数は10個
- ルール説明(1分)→競争(2分)→点数集計・解答解説(2分)
- ・スタッフの人数は2人
 - ・物品には番号を振っておく
 - ・残り時間による点数の加算はなし
 - ・物品に関しては購入及び学生委員(共済メンバーなど)から拝借
 - ・解説用紙は参加者に配布する
 - ・防災バッグのテストプレイは6/5(水)に実施した。
 - ・理想的な防災バッグとして、NHK から防災バッグをお借りした

・北部購買で販売する非常食などを、学生委員会で購入し、防災バッグの中身の物品として取り扱った(→北部購買へ誘導するため)

参照：[防災バッグの中身の物品一覧](#)



↑理想的な防災バッグの中身（NHK から拝借）

<VR ゴーグル>（担当者：NHK）

- ・地震の体験ができる VR ゴーグルを NHK から拝借
- ・4 個用意して、2 個使用し、残り 2 個は充電する
- ・当日朝に NHK が持って来てくださった
- ・NHK の方がブーススタッフになった



<共済加入確認会>（担当者：共済センター辺見店長）

- ・参加者が共済に入っているかどうかを確認する
→災害時のケガなどにも共済金の申請ができるということを伝える
- ・加入確認は辺見店長が行う

- ・ A2 サイズの共済関連ポスターを掲示予定
→ポスターの用意は辺見店長にお任せ
- ・ 机のみ準備
- ・ PC を充電するための電源が必要

<クイズ・アンケート>（担当者：松田）

- ・ クイズは参加者が本企画を通してどれだけ防災の知識を得られたかを調査するのが目的
→出題範囲はブースの内容やポスターの内容など(災害に関する動画の内容は除く)
- ・ クイズの内容は防災企画の各ブース担当者から募った
- ・ Google フォームで作成し、クイズ→アンケートの順につなげる
- ・ クイズは4択問題で、アンケート終了後にスコアを表示する
なお、アンケートは0点で計算する
- ・ クイズ及びアンケートは、NHK にも推敲を行っていただいた
- ・ このブースに参加賞も用意して、スタッフが渡した

<ポスターなどの掲示ブース>

参照：[作成物まとめ](#)



<情宣>（担当者：栗栖・春木）

- ・ 以下の日程（6月）で行った

							1 仏滅
2 大安	3 赤口	4 先勝	5 友引	6 大安	7 赤口	8 先勝	
9 友引	10 先負	11 仏滅	12 大安	13 赤口	14 先勝	15 友引	
16 先負	17 仏滅	18 大安	19 赤口	20 先勝	21 友引	22 先負	

水色:防災企画当日
 黄緑:情宣しようと思っている日
 橙◆:豆知識宣伝

- ・情宣ポスターを作成
- ・情宣だけでなく、防災に関する豆知識(ライフハック)を紹介する
- ・「#今日から防災」で発信
- ・参考:防災企画 X 宣伝豆知識
- ・総代向けマガジン及び公式 LINE でも情宣を行った
- ・公式 LINE も発信

<参加賞>

- ・参加者には全員に参加賞を渡す
- ・タヌロークリアファイル (10 円/枚)200 枚及びタヌローボールペン(20 円/本)200 本を購入予定
- ・NHK からいただける物品も配布した

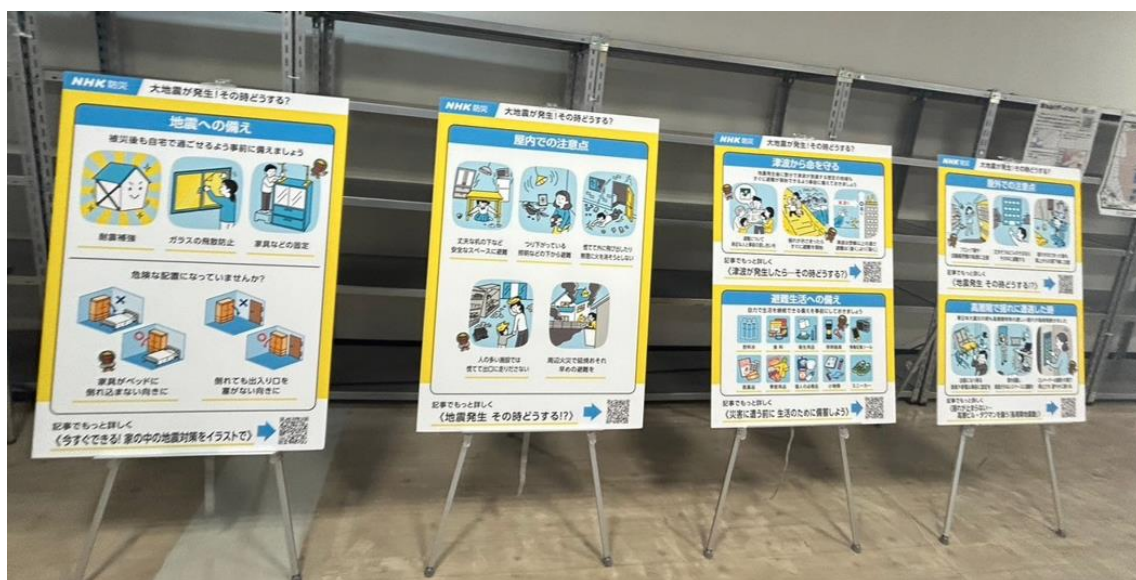
—配布物一覧— (200 部用意)

- ・タヌローボールペン
- ・共済ビラ
- ・NHK からいただいたもの



<NHK との協力> (担当者：七條)

- ・ GI 向け防災講習会を行っていただいた
- ・ 地震を体験できる VR ゴーグル 4 個およびその充電器を 2 日間拝借する
- ・ 災害に関するループ動画を作成していただいた
- ・ 動画を映すための媒体も拝借
- ・ NEWS 防災アプリのロールバナーを拝借
- ・ 地震の備えに関するパネル(B2 サイズ)4 枚を拝借
- ・ パネルを立てかける三脚のようなものも拝借
- ・ 防災バッグ(中身有り)も拝借
- ・ 参加賞用のクリアファイルなど(その他防災に関する物品)をいただいた
- ・ 各種推敲を行っていただいた



● クイズ・アンケートの内容詳細

Google フォームで作成し、二次元コードを印刷した。参加賞を渡す際に、アンケート用の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ってもらい、できるだけその場で回答するように促した。

フォームでは、企画のフィードバックを行う（掲示物を後日メールに添付して参加者にするなど）ために、回答者のメールアドレスを収集したが、「メールアドレスをフィードバックに使います」という文言を入れ忘れていた。そのため、個人情報の観点からも、勝手にメールアドレスをフィードバックに使用することはできないと判断し、今回はフィードバックを行わないことに決定した。

<クイズの設問・選択肢及びフィードバック>

問 1. 重ねるハザードマップはどの機関が提供しているツール？

—選択肢—

- ・首相官邸
- ・厚生労働省
- ・国土交通省
- ・総務省

—設問へのフィードバック—

国土交通省が運営する「ハザードマップポータルサイト」に掲載されています。

<https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=35.353216,138.713379&z=5&base=pale&vs=c1j0l0u0t0h0z0>

問 2. 防災バッグに準備しておくべき飲み水は、最低何日分必要？

—選択肢—

- ・ 0 日分
- ・ 0.5 日分
- ・ 1 日分
- ・ 1.5 日分

—設問へのフィードバック—

大人一人が生きていくためには、1 日 3 L の水が必要とされています。発災から避難所へ支援物資が届くまでおおむね 4 日を自治体や自らの備蓄に頼ることになるため、飲み水を準備しておく必要があります。

問 3. 食器にかぶせて洗い物を減らしたり、怪我をした時の包帯として使える、防災バッグに入れておくべきものはどれ？

—選択肢—

- ・ トイレットペーパー
- ・ ラップ

- ・チラシ
- ・クッキングシート

―設問へのフィードバック―

ラップは断水・密着性に優れ、ケガをした際の保護などに役立ちます。また、肌の上に巻くことで保温効果もあります。

問 4. 災害時の買い物にはキャッシュレス決済を利用するので、現金を持ち歩く必要はない。

―選択肢―

- ・○
- ・×

―設問へのフィードバック―

停電時にはキャッシュレス決済のシステムがお店で使えないことがあります。そのようなときに備えて、現金もある程度持っておくと安心です。

問 5. 避難所にすばやく移動するため、緊急時でもできるだけ身軽な服装で避難するのがよい。

―選択肢―

- ・○
- ・×

―設問へのフィードバック―

すばやく移動することも大切ですが、がれき等に素肌を当てて怪我をすると感染症にもつながります。よって、素肌を隠し、かつ動きやすい服で避難することが望ましいとされています。

問 6. 札幌市のマニュアルでは、避難所の生活スペースは一人当たりどの程度と定められている？

―選択肢―

- ・1 m²程度
- ・1.5 m²程度
- ・2 m²程度
- ・2.5 m²程度

―設問へのフィードバック―

以下のマニュアルを参照しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kitaku/machi/machikyou/documents/un-eimanuai.pdf>

問 7. 平成 26 年 9 月 11 日の大雨でエリアメールの内容を認識していた人は、避難した人の何%？

―選択肢―

- ・ 22%
- ・ 42%
- ・ 62%
- ・ 82%

―設問へのフィードバック―

札幌市のエリアメールは、「垂直避難」という形態も含めた避難を求める内容でした。垂直避難について札幌市の定義は以下の通りです。

垂直避難…建物の2階以上など屋内の安全な場所に避難すること。なお、避難場所など安全な場所へ避難することを「立ち退き避難」という。

問 8. 普段から食料を多めに購入しておき、食べた分を補充しながら日常的に災害備蓄をしておく取り組みのことを何という？

―選択肢―

- ・ フレッシュマンセミナー
- ・ コンプライアンス
- ・ バズマーケティング
- ・ ローリングストック

―設問へのフィードバック―

ローリングストックを活かすことで、日常の中に食糧備蓄を取り込むことができます。そのような備蓄品を活かすためには、カセットコンロやガスボンベなどをあらかじめ用意しておくとう便利です。

問 9. 災害後に金融機関からお金を下ろしたいとき、通帳がなくても本人確認が取れればお金を下ろせる場合がある。

―選択肢―

- ・ ○
- ・ ×

―設問へのフィードバック―

災害後に金融機関からお金を下ろしたいとき、通帳がなくても本人確認が取れればお金を下ろせる場合があるので、身分証明書のコピーを防災バックに入れておくとう便利です。

問 10. モバイルバッテリーは充電式のものよりも乾電池式のものを持っておく方が安心。

―選択肢―

- ・ ○
- ・ ×

―設問へのフィードバック―

充電式のモバイルバッテリーも十分に役立つものですが、乾電池式のモバイルバッテリー

は、乾電池の備蓄の安易さから災害時に非常に役立つものです。乾電池さえ交換すれば使いまわすことも可能なので、まずは乾電池の備蓄から始めてはいかがでしょうか。

7. 結果と分析

●参加者数

合計：62 人（VR ゴーグルの参加者：72 人）

1 日目：32 人（VR ゴーグルの参加者：36 人）

2 日目：30 人（VR ゴーグルの参加者：36 人）

●非常食の売上個数の結果

参照：[防災企画用 売上個数一覧](#)

●非常食の売上個数の結果に対する分析

- ・防災企画前日の 18 日（火）は比較的売れている。
- ・防災企画 1 日目の 19 日（水）は一番売れているが、2 日目の 20 日（木）はあまり売れていない。
- ・GI の学生委員が自分用にたくさん買っていることが予想される。特にえいようかんなど。
- ・スイーツ系の非常食の方が他と比べて売れている。「備える」という意識よりも「おいしそう」という気持ちが勝ったからか？
- ・えいようかんや乾パンは、備えるのではなく、購入後にすぐ食べることができるのでよく売れた可能性もある。
- ・缶詰などは思っていた以上に売れていない。
- ・缶詰やアルファ米は食べるまでに一手間かかるのであまり売れなかった可能性もある。
- ・売り出した 1 週目（防災企画実施）よりも 2 週目の方が、売上個数が少ない。
- ・最終日に売れているのは、設置場所を移動させたからだと考えられる。

<まとめ>

売上個数に関して、1 週目と 2 週目により差が生じたことから、多少は防災企画が売上個数に影響を与えたと考えられる。しかしながら、防災企画実施日とその前後で売上個数の差があまりないことや、複数の学生委員が企画実施日やその前後に非常食を購入していたことから、防災企画と売上個数にはあまり関係がないとも考えられる。したがって、防災企画がどの程度売上個数に影響を与えたかを判断することはできないと結論付けた。

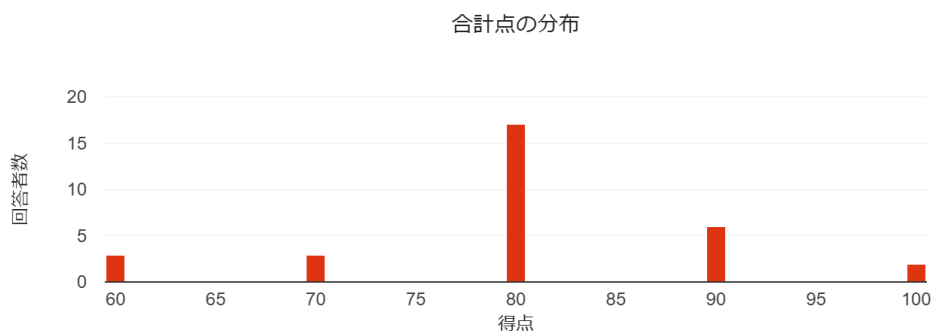
また、購入後にすぐ食べられる非常食はよく売れ、缶詰やアルファ米などすぐに食べられない非常食はあまり売れなかったことから、買ってすぐその場で食べるという購買の特色を表していると考えられる。

● クイズの結果（回答数：31 件）

<合計点の分布>

分析情報

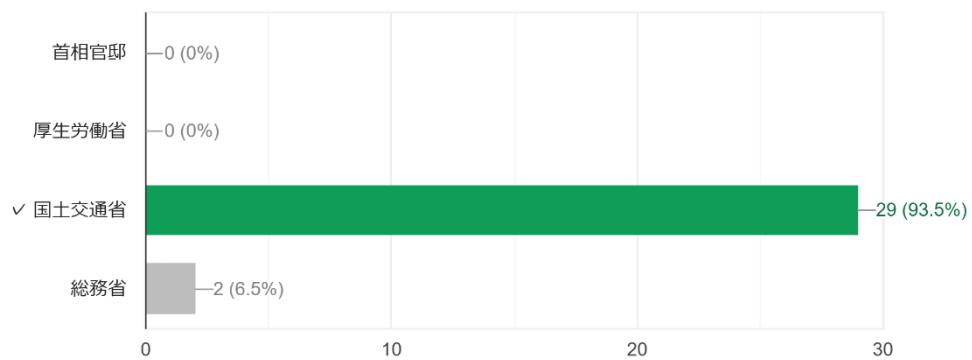
平均 80.32/100 ポイント	中央値 80/100 ポイント	範囲 60～100 ポイント
----------------------	--------------------	-------------------



<設問ごとの正答率>

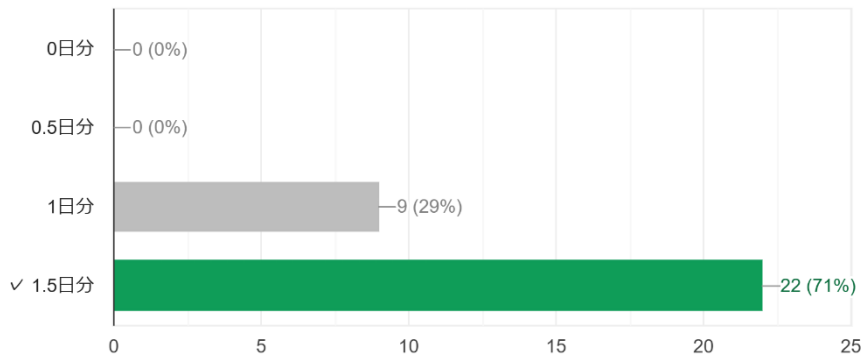
問1. 重ねるハザードマップはどの機関が提供しているツール？

正解 29/31 件



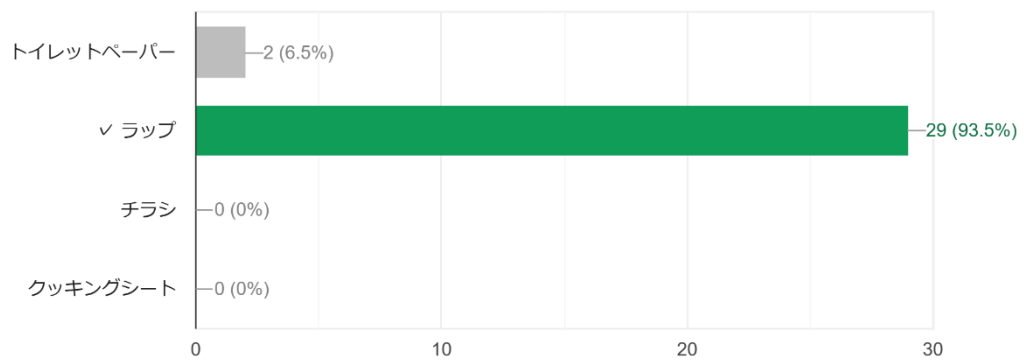
問2. 防災バッグに準備しておくべき飲み水は、最低何日分必要？

正解 22/31 件



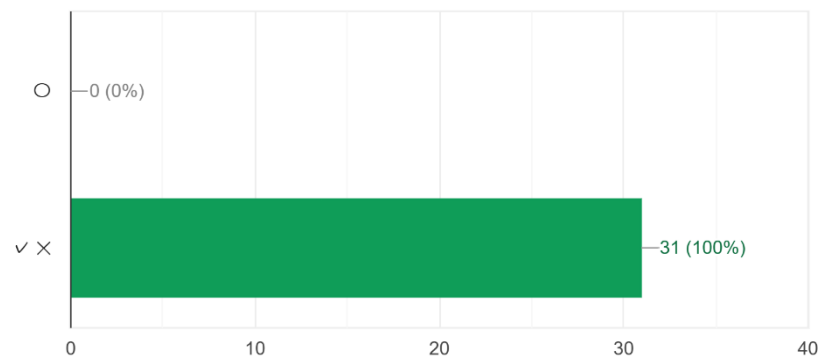
問3. 食器にかぶせて洗い物を減らしたり、怪我をした時の包帯として使える、防災バッグに入れておくべきものはどれ？

正解 29/31 件



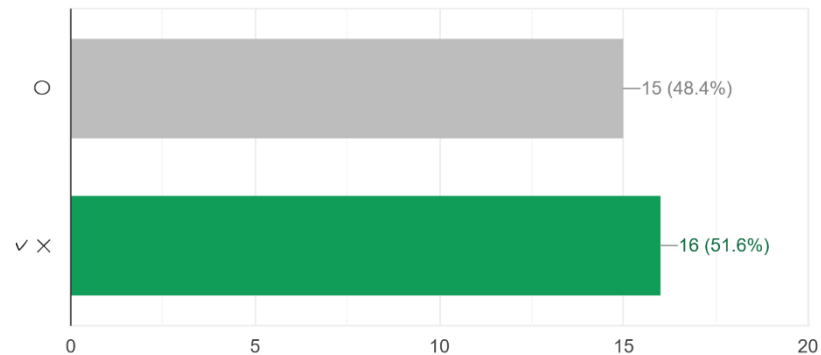
問4. 災害時の買い物にはキャッシュレス決済を利用するので、現金を持ち歩く必要はない。

正解 31/31 件



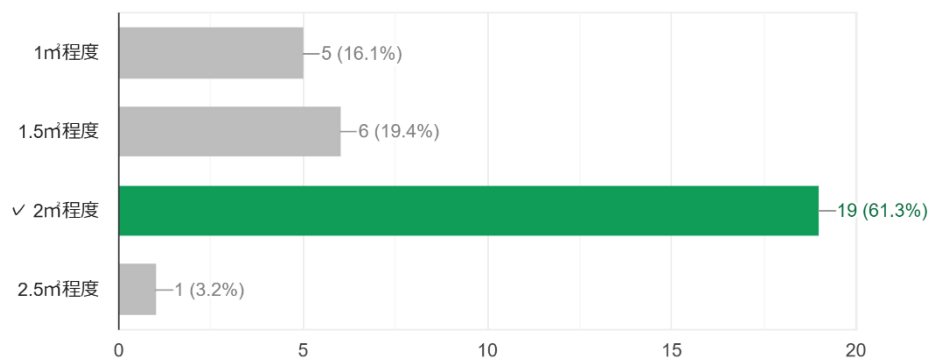
問5. 避難所にすばやく移動するため、緊急時でもできるだけ身軽な服装で避難するのがよい。

正解 16/31 件



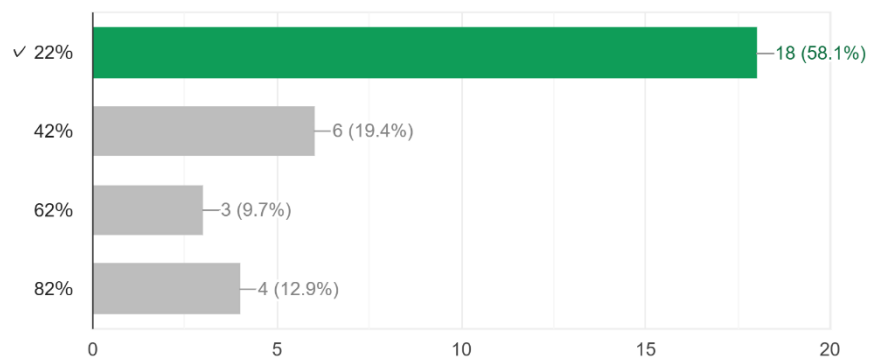
問6. 札幌市のマニュアルでは、避難所の生活スペースは一人当たりどの程度と定められている？

正解 19/31 件

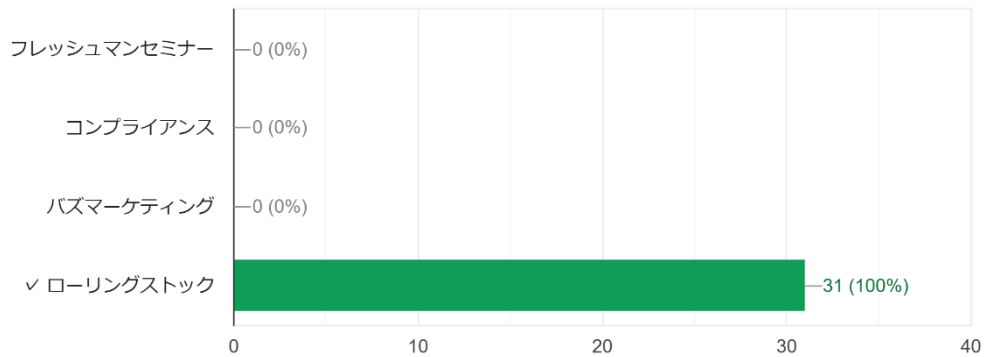


問7. 平成26年9月11日の大雨でエリアメールの内容を認識していた人は、避難した人の何%？

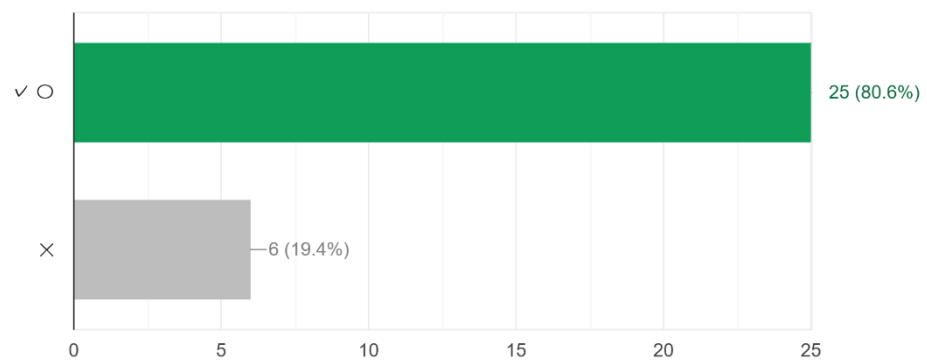
正解 18/31 件



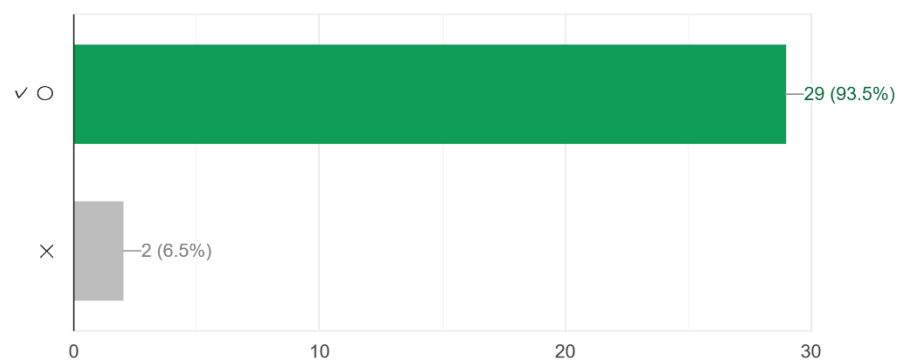
問8. 普段から食料を多めに購入しておき、食べた...災害備蓄をしておく取り組みのことを何という？
正解 31/31 件



問9. 災害後に金融機関からお金を下ろしたいとき...本人確認が取ればお金を下ろせる場合がある。
正解 25/31 件



問10. モバイルバッテリーは充電式のものよりも乾電池式のものを持っておく方が安心。
正解 29/31 件



●クイズの結果に対する分析

- ・平均が 80 点であり、高得点と言える。ただし、満点の人は少なかった。

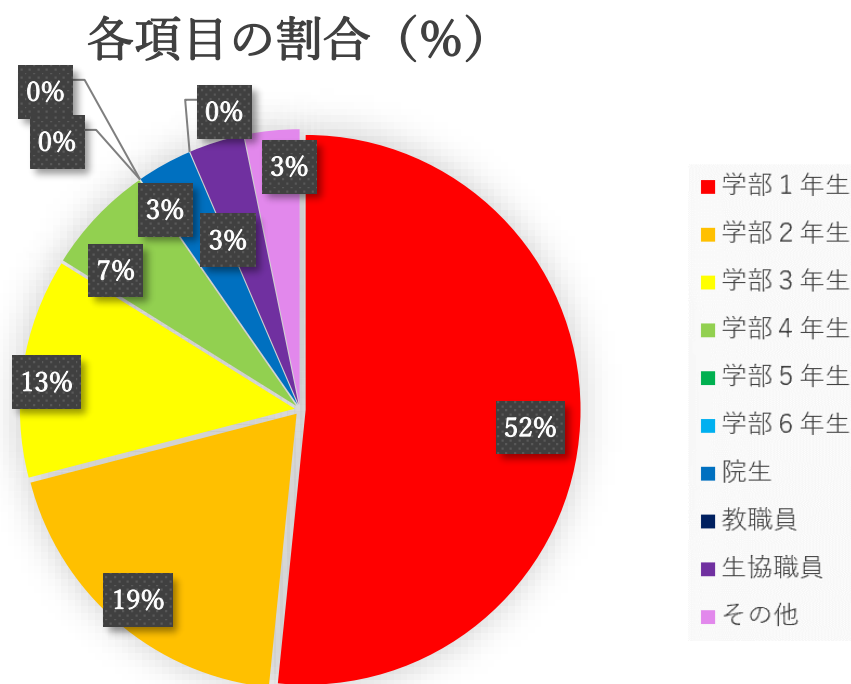
- ・問5の2択の正答率は51.6%と他と比較して低い。
- ・点数が正規分布に近いことから、難易度としてはちょうど良かったと考えられる。

8. 各種アンケートの結果と反省

※アンケートの記述は原文を掲載しているため、誤字・脱字が見られることがある。

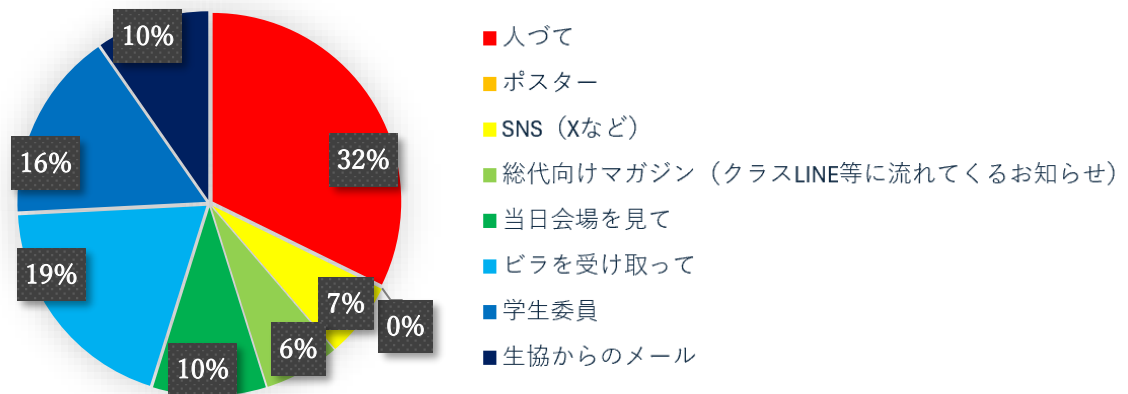
●参加者アンケート（回答数：31件）

学年を教えてください。（回答数：31件）

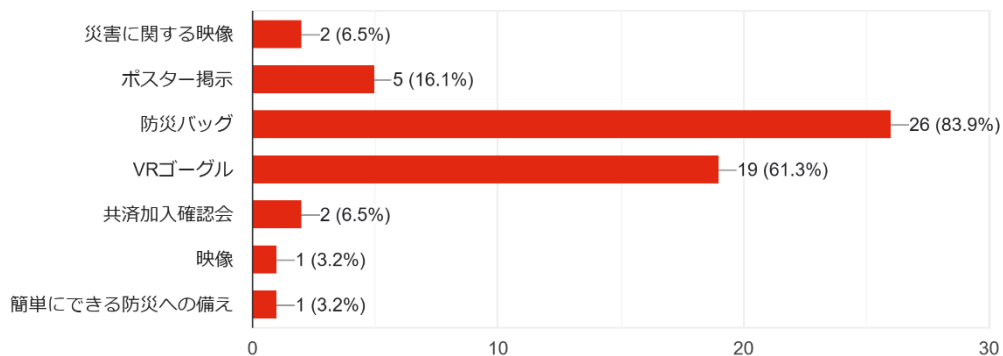


この企画をどのように知りましたか？（回答数：31件）

各項目の割合 (%)



印象に残った/楽しかった企画はどれですか？（複数選択可）（回答数：31 件）



その理由を教えてください。（回答数：18 件）

- ・ 作るときが一番輝いていたから。（ポスター掲示選択者）
- ・ 防災バッグも VR ゴーグルもおもしろかったです！
- ・ 実際に体で体験できる企画であったため。（防災バッグ、VR ゴーグル選択者）
- ・ 防災バッグの詰め込みという観点は今までになかったので貴重な経験ができてよかったから。
- ・ リアリティがあってすごかった。（VR ゴーグル選択者）
- ・ 楽しみながら防災について学んだり、実感を持ったりすることが出来た。（防災バッグ、VR ゴーグル選択者）
- ・ 優先順位と、意外と結構な量になること、重いことがわかったから。揺れをわかりやすく体感できたから。（防災バッグ、VR ゴーグル選択者）
- ・ 難しかったから。（防災バッグ選択者）

・防災バッグは二分間だったが思ったよりも余裕があったので災害があっても焦らずに避難準備ができるようにしたい。

- ・面白かった。(防災バッグ選択者)
- ・実際に映像で揺れを体験できるのが新鮮だったから。(VR ゴーグル選択者)
- ・災害時に近い状況を体験できたから。(防災バッグ、VR ゴーグル選択者)
- ・災害時に携帯すべき物品の優先順位を知れたから。(防災バッグ選択者)
- ・勝負ができて楽しかった。(防災バッグ選択者)
- ・友達と回れて楽しかった。企画も面白く、バッグ詰め込み点数争いは面白かった。
- ・体験できてよかった。(ポスター掲示、防災バッグ、VR ゴーグル選択者)
- ・実際に必要なものを考えることができたから。(防災バッグ選択者)
- ・担当の人とお話できて楽しかったから。(防災バッグ、VR ゴーグル選択者)

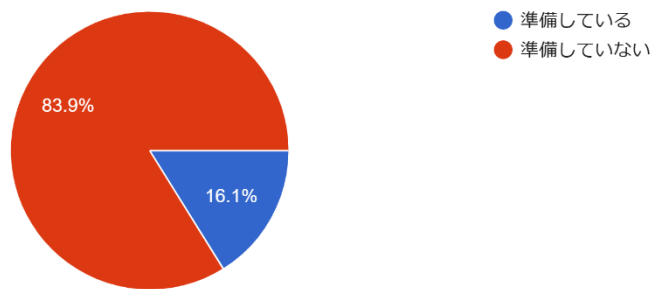
企画全体を通して、よかった点があれば教えてください。(回答数：11 件)

- ・防災バッグ詰めるのも楽しかったですが、見本のバッグの中身も意外なものが含まれており参考になりました。
- ・参加しやすい・してみたい企画があった点。
- ・ただ情報が羅列されているのではなく、実感覚を伴い、能動的なものがあったこと。
- ・防災に対する意識が少し高くなったのでよかった。
- ・周りやすい雰囲気、身近で役立つコーナーが適度に企画されていて良かったと思う。
- ・防災バッグの荷物選び。実際に防災グッズに触れて考えながら中身を選べたから。
- ・防災に関する意識が高まったこと。
- ・生協の人が暖かかった。
- ・実際に背負ってみることができるのがよかった。
- ・共済保険の確認ができてよかった。
- ・VR は NHK が独自に持っている技術ですが！と思いました。

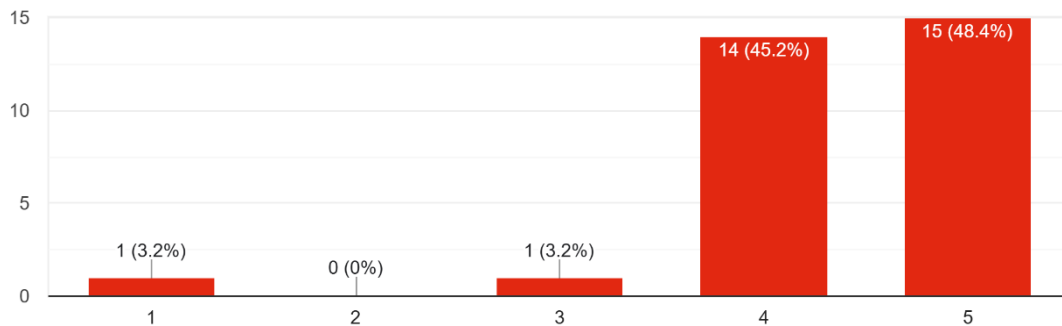
企画全体を通して、改善すべき点があれば教えてください。(回答数：9 件)

- ・なし。
- ・トラベルセンターへの導線を用意して欲しかった(まだ場所を把握しきれておらず、場所が分かりづらかった)。
- ・人来てー 
- ・開催場所が分かりにくい。
- ・宣伝。
- ・防災バッグの中身をどれくらいの値段で用意できるのか知りたかった。

防災バッグを自宅に準備していますか？(回答数：31 件)



この企画を通して、防災への意識は高まりましたか？（回答数：31 件）
（1：高まらなかった 5：高まった）



具体的に真似したいと思った備えはありますか？（回答数：17 件）

- ・ VR ゴーグルください！
- ・ ラップの使い方。
- ・ 防災バックの作成は必要と感じた。
- ・ 防災ボトルとしてまとめて置いておく。
- ・ 防災バッグ作りたい！
- ・ 防災バッグ、部屋の家具の配置。
- ・ 防災バック、NHK 防災アプリ。
- ・ 防災バック。
- ・ 防災バック及び、災害時に携帯していると役立つ物品の備蓄。
- ・ 防災ボトル。
- ・ 防災グッズの入った水筒。
- ・ nhk の防災アプリを入れたいと思った。
- ・ ローリングストック頑張ってみたくなりました。

今後このような防災企画を行ってほしいと思いますか？ よろしければ理由も教えてください

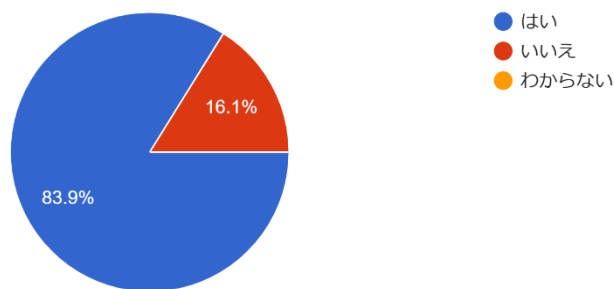
さい。(回答数：12 件)

- ・防災企画で初めて知ることもあるので、ぜひ継続していただきたいです。
- ・2018 年頃に北海道でも地震があり、在学中に当事者となることもあると思うので啓発という面でやるべき。
- ・行ってほしいです。一人暮らしし始めてから防災への意識が薄れていったから。
- ・自覚が足りていないと思ったので、また同様の企画があれば参加したいです。
- ・はい。忘れがちだから。
- ・はい。
- ・たくさんの人の防災意識が高くなると思うのでやった方がいいと思う。
- ・定期的に防災企画を行い、知識のアップデートや防災意識の維持に役立ててほしい。
- ・もっと多くの人に参加してもらいたい。
- ・防災に対して意識を高めるうえで必要な取り組みだと思う。

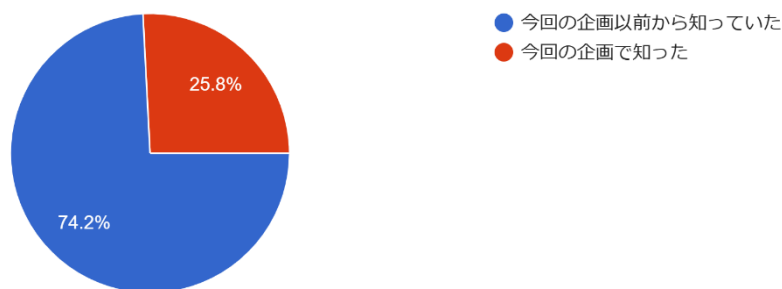
災害や防災に関する知識について、わからないこと、疑問に思うことがありましたらお書きください。(回答数：4 件)

- ・防災用品はどこで買えるのか。
- ・特になし。
- ・札幌で起こりうる災害。

学生総合共済に加入していますか？(回答数：31 件)



学生委員会 (GI) のことを知っていましたか？(回答数：31 件)



学生委員会（GI）に今後実施してほしい企画などがありますか？（回答数：3件）

- ・IRAYouTube 部局でガチりたいです。
- ・がんばれ！！
- ・企業と積極的にコラボしてほしいです！NHK とても良かったです👍

その他に、何かありましたら書きください。（回答数：4件）

- ・見えるといいなあ。
- ・ありがとうございました！
- ・楽しかったです。企画していただきありがとうございました。
- ・素敵な展示ありがとうございました！大変楽しませていただきました。次の企画も楽しみにしております。

<企画者側が気付いたことなど>

- ・参加者が62人でアンケートの回答が31件であり、50%の回答率である。2024年1月にトラベルセンターで行った健康に関する企画「健康万博」では、アンケートの回答率は40%程度であった。
- ・クイズと一緒にというアンケートの取り方が功を奏した。
- ・アンケートが長すぎて不満に思った人もいた。
- ・人づてに企画を知った人が多い。
- ・ビラの宣伝効果は少しあったみたい。
- ・2年生以上の人も参加してくれている。
- ・防災企画の最後のブースに「共済加入確認会」が入っている流れが不自然に感じた参加者がいたと聞いた。
- ・生協からのメールがプロモーションだったのは、痛手。
- ・トラベルセンターの前や食堂などにポスターを掲示するべきだった。
- ・SNSなどで配信するポスターだけでなく、情宣用に細かく内容を載せたポスターを作成するべきだった。
- ・购买前から何人か誘導して来てもらえた。
- ・参加型の企画だけでなく、講義型の企画もやってみても良い。

- ・「防災について知りたいこと」で出た質問をメールでフィードバックできたら良かった。
- ・GI の認知度は上昇している。

<反省>

参加した人には楽しんでもらえたようだ。また、防災の意識が高まったと回答した人も多く、防災へのきっかけとなる企画ができたと思う。

しかし、参加者が少なくなってしまったのは情宣が上手くできていなかったためである。参加者の目に留まり、気軽に参加しようと思ってもらえる企画になるように、ポスター掲示や企画前日の呼び込みなどを今後の企画では行っていきたい。

●当日スタッフ用振り返りドキュメント

参照：[当日スタッフ用 振り返りドキュメント](#)

<6月19日（水）1日目>

ー準備（前日準備を含む）ー

- ・前日と当日の準備は割としっかりできたと思う。
- ・テープなどの備品を NHK や北部店に借りることが多かった。プレハブから持ってくる（テープに関しては GI 自体のものがなくなったみたいだけど）べきだった。
- ・プレハブ内の物の場所や管理をしっかりしておけば、見つからないという事態を防ぐことができたのではないか。
- ・購買からの誘導の準備（ポスター掲示、矢印の掲示、購買のポケットティッシュの山・植木鉢の移動など）をしておくべきだった。

ー企画本番ー

- ・トラベルセンターの中ではスムーズな案内ができていた。
- ・丁寧に防災について参加者に説明できていた。
- ・最後まで見てくれた人は楽しんでもらえたと思う！
- ・参加者が気軽に参加できる雰囲気作りができていなかったかも（企画会場や配置の仕方に問題があるかもだけど）。
- ・体験企画の手前(展示のみ)で帰ってしまう参加者がいた。適切な声かけが必要なのかも....。展示を見ているときに声をかけられたくない派もいるからなかなかタイミングが難しい。
- ・導線の関係でポスターだけ見たい人が強制的に体験型企画をやらされてしまう（ヒトと話さないといけない）。導線の工夫で展示だけ見たい人を受け皿にできたらよかった。無人は GI のシフト的にもありよりのあり。
- ・10 分くらいしか時間が取れないみたいな人に全部回らすのは無理がある。企画ガッツリ派と展示ちょこっと派のどちらも楽しめる工夫したいね。今はどっちも中途半端になっている。

・購買に、ワゴンの設置とローリングストックのポスターだけだったけど、他の防災の知識に関するポスターがあっても良かった。

—情宣—

- ・計画的に X や館内放送を利用できていた。
- ・ビラ配りを積極的に行い、北部購買や食堂の出口で多くの人がビラを手にとってくれた。
- ・常に購買の前で声をかけることができた(多分)。
- ・沢山ビラを配ることができたこと。ビラ読んで興味持ったけど授業の都合で行けなかった人もいると思うので、きっと2日目には効果が出るはず。
- ・北部購買前のビラ配りでは、トラベルセンターの入口方向の通路を GI がふさいでいたから足を運ぶ人が少なかったのかも。2日目はトラベルセンターと反対側の方からビラ配りをしてみよう。
- ・情宣ビラを受け取っても来てくれない人が多かった。
- ・今日から防災のポスターや目立つものがなかったので、あまり目に留まらなかったのかも。
- ・声かけのためのポスターがしわくちゃになってしまっていた。
- ・今更過ぎるけど、ポスターの場所の部分にトラベルセンターって書いてないのがちょっと分かりにくいかもしれない。あと、SNS の情宣文、「福利厚生会館」って書いてもわからないから、「北部購買」の方がよい気がするけどどうでしょう??
- ・悪いところって程じゃないけど、2〜3 限あたりの食堂の利用者が多い時間帯は、食堂出口でビラを配った方が宣伝効果は高いかなという気がした!あと、購買 2 階でやるより配る側の精神衛生的によい印象。
- ・トラベルセンターの入口らへんでも何か情宣しないと、本当にやっているのか分からない。やっぱタヌロー必要??
- ・ビラ単体だとあんまり受け取って貰えないから、ティッシュつけるのありかも。
- ・所要時間を書かなかった。
- ・ビラとかを企画の日の前から配ってもよかったかも。
- ・トラベルセンターの行き方地図つくる?福利厚生会館はぜったいわからん。正式名称だけど。
- ・食堂出口で配布したのは、入り口だとお盆も持ってっていうのが大変だし、ゴミ箱に捨てられるのを危惧して止めました(許可は取ってた)。
- ・立て看板を置くんだったら少なくとも1ヶ月前までに大学に申請必要みたい。

—全体—

・NHK さんや辺見さんとちょこちょこ喋りながらわりと和やかだったんじゃないかなーと思います!

—その他—

- ・参加者の印象は一人で来ている人が多かった感じ。グループの人を道連れにできれば良いな～。
- ・友達を誘いやすい雰囲気の企画だとグループでも参加してくれるようになりそう。
- ・ビラ配る時は相手の目を見る&声かけする&相手の手のあたりの位置にビラを差し出すと 結構受け取ってもらいやすかった感があります～。ご参考までに。

<6月20日(木)2日目>

—企画本番—

- ・防災バック人気でした 😊
- ・入ってきた人を逃さないように、ポスターを見始めたら入口側に立つようにした。
- ・4時前くらいからは参加者が途切れなかった。
- ・声かけできなくてすぐ帰ってしまった人がいました 🙄

—情宣—

- ・そもそも一年生がXを見ていないという可能性があるのかも。アンケートとか見ても SNS 見てきたって人ほとんどいなかった気がする。

—その他—

- ・タヌローがトラベルセンター前にいることにより楽しそうな企画をやっている雰囲気が出る？
- ・体験型企画は健康万博の方が充実していた。
- ・情宣時の声掛けワード（キャッチコピー）がなかった。
- ・購買に行く流れができてよりトラベルセンターに行きづらいか…？
- ・健康と防災を単純に比較したとき、健康の方は常日頃ケアするものだが、防災はそこまで日常に住んでいるものではない。だから参加人数に乖離がでたのかな。
- ・「防災」ってとくに、自分たちのやりたい気持ちが強かったような。防災の日（9/1）」とか、「北海道での災害が起こった日」とかぶせた方が良かった？胆振東部地震（9/6）など、北海道や札幌関係の災害に関する「ブース」を設けるのもあり。
- ・北部購買に買い物来たついでにしては企画が多い。
- ・景品に惹かれない？

<反省>

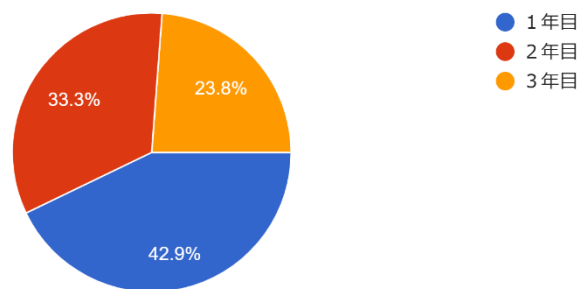
細かい部分まで準備を行き届かせることができず、準備不足が目立った。極め付きは、情宣用ポスターの作成及び印刷である。企画当初は、SNS での発信用に企画の概要をまとめたポスターを作成し、それで周知を行った後、詳しい内容や具体的な内容

が書かれたポスターを作成する予定であった。しかしながら、責任者である私がすっかりそのことを失念しており、情宣用ポスターは1種類のみだと思い込んでいたため、結果的に開催場所が書かれていないポスターをビラとして配ることになってしまった。また、ポスター印刷や掲示についても検討していなかった。一人ですべての管理を行うと失念してしまうことがあるので、企画者メンバーとコミュニケーションをとりながら、余裕を持って準備する必要があると反省した。

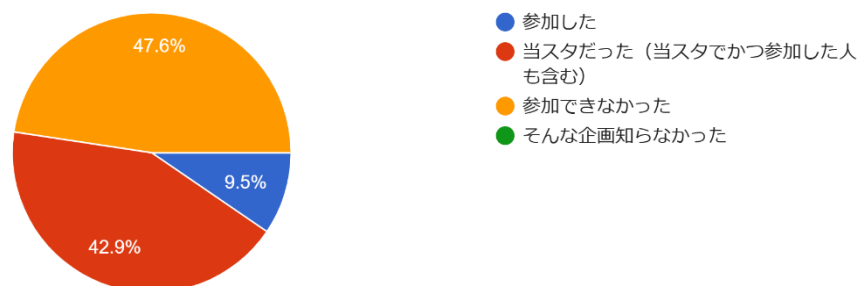
また、参加者に対する動機付けを今回はあまり行えていなかった。突然「防災」と言われても参加者側からすると企画に参加する意味を考えにくい。もう少し参加者側に立って、動機付けを考える必要があった。

●GI 内部向け感想交流フォーム（回答数：42 件）

年目を教えてね。（回答数：42 件）



あなたは防災企画「# 今日から防災」に…（回答数：42 件）



—参加した方—

企画の良かったところ、印象に残ったところはありますか。（回答数：15 件）

- ・VR ゴーグルでの地震体験が印象に残りました。
- ・VR ゴーグルよかった。NHK とか外部と連携するとできることの幅がかなり広がる。クイズが難しかったのが良かった。見本の防災バッグがあったことも現実のイメージが付き意識が変わったと思う。参加賞も豪華だった。

- ・バッグに防災道具を詰め込む体験が面白かった。点数などがついててゲーム感覚で遊べたし、新たな学びもあって良かったと思う。
- ・ほぼ全てのブースが体験型となっていて、飽きなかった！
- ・参加者に押し付けず、知ってもらおうというスタンスがちょうど良かったと思う。特に VR ゴーグルでは、高層ビルでの長周期振動がどれだけ大きく揺れるのかよく分かって、衝撃的だった。
- ・VR、リュックのような体験型企画。
- ・VR ゴーグルすごかった。
- ・VR ゴーグル楽しかった。
- ・ゴーグルやっぱりいいね。
- ・ためになりました。近いうちに防災バック作ろうと思います。
- ・我々が頑張ったこと。NHK さんにつながりができたこと。
- ・実際に防災に役立つ情報がてんこもりだったこと。印象に残ったのは、NHK さんが持ってきていた防災リュックがとても重かったこと、これをしょって避難するのは正直難しいなと思った。
- ・防災ゴーグルや 4 コマ漫画など企画の質は非常に高かったこと。
- ・いろんな展示物が用意されていたこと。
- ・荷物詰め詰めゲーム、とっても楽しかったんですけど、ほりいけんに負けました。軍手とハザマはいらないね。いらなくはないか。200 点行って嬉しかったです。VR もまあまあよかった。

企画の改善点があれば、教えてね。(回答数：12 件)

- ・もう少し人を集める。
- ・情宣。企画の中身は良いのにあまり参加してもらえなかった。場所柄通りすがりの人は限られるから SNS も含めてより広範囲の情宣が必要。せっかく企画やってるのにもったいなさすぎる。
- ・トラベルセンターまでの行き方があやふやだったので戸惑った。案内の導線とか確保出来たら見やすかったかも。
- ・規模はそこまで大きくないので、気軽に出入りできることをアピールできたら良かったかも。(VR だけでも良いですよ、という風な?)。
- ・クイズの件ですかね、、、。
- ・展示物と体験ブースが雰囲気合っていない感じはした。展示ブツは外に掲示してもよかったかな？
- ・場所。トラベルセンター奥はわかりにくい。あとはなんだろう 🤔 時期か、、、？
- ・企画に関しては満足度高かったです。
- ・前回の共催は景品の影響が集客に大きく影響したと個人的に思う。
- ・購買の方のひじょうしょくに興味を持ってくれていた人は多かったのでそこから誘導で

きるような飾りがあればよかったかなあ。

- ・特に無し！

- ・場所が悪いのか、企画があんまり人々の目に魅力的に映らなかったのか、人が少なかったのが、もったいないね...あと、時間はかかるけど、共済すごろく〜防災編〜みたいなのあると面白そう。最初に共済はいるか選ぶんじゃなく、今回の荷物詰めゲームのアイテムみたいなのを参加者でドラフト形式で奪い合って、何かしらアイテム持った状態ですごろくやるの。「食料や水を持っていないければ1回休み」とか「ハザードマップを持っている人はこっちのルートに行けます」とかあったら面白くない？

企画をトラベルセンターで行うことについてどう思いますか。率直な意見を聞きたいです。

(回答数：16件)

- ・悪くないと思いました。

- ・正直立地としては不利。福利厚生会館 2 階のさらに奥まった場所にあるから探さないと見つけれない。当日の情宣も 2 階でしかできないしそもそも購買・書籍の利用者数は食堂とかに比べると少ないからふらっと立ち寄ってもらうには限界がある。この企画に参加しようという意思を持った人じゃないと参加しにくかった。トラベルセンターを利用しにきていた人が用件が済んだら帰ってしまったのは悲しかった。

- ・実施場所を気にしたりとかはなかった。別にいいと思う。ただ、参加のしやすさという点ではちょっと躊躇するところはあるのかなとも思う。(購買とは距離が少しある)

- ・結構奥まってるので入り口などを目立たせたほうがいい気が……。

- ・場所が分かりにくいけれど、それ以上に参加者が入りづらいと思う。(入っちゃったら出て来れるかな？みたいな)(小さな店の入りづらさと同じような感じ)

- ・トラベルセンターってトラベルしない人にとってはほんとに見ないから企画に参加させるのは難しいと思う。

- ・人が来ない!!!健康万博のときみたいに、購買に小さめの企画やってそこから誘導する方がまだ参加者多くなったかも??

- ・辞めたほうがいい。あんなに奥側で、しかも入るときに躊躇する感じだし。

- ・誘導むずいね、やっぱりタヌローとかいた方がいいのかなあ、。

- ・さっき書いちゃった。分かりにくい。正直よくない。入口チラッと覗いて帰っちゃった人もいたみたい。購買への通路の横でできんかね？

- ・しゃーなくない?それ以外に場所出せそうにないし。

- ・普段頻繁に使用する場所ではないので入りづらさはある。

- ・デメリット→奥まったところだから、人の目が全く届かず、呼びかけしか客寄せができなかった。入口から入ってきても、トラベルセンターの客かどうか判別しづらいため、すぐに引き返す人がいた。そもそも 13 時移行は人が 2 階になかなか集まらない

メリット→準備が楽、お金がかからない

個人的には、食堂の旧ラーメン売り場を使えないかと思います。(昨日そこで企業がイベン

トをやっていたから)

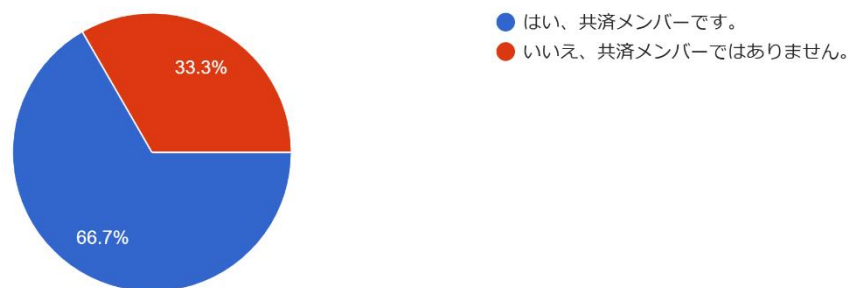
・今回 NHK さんは自転車点検会を見て声をかけてくれたはずだったので、目に居つきやすいメンスト沿いで行える企画があればいいのかなとは思いました。

・場所が簡単に用意できるのはいいけど、いかんせん目につきにくいところっていうのがデメリットですね。やっぱりタヌロー呼ぶか。

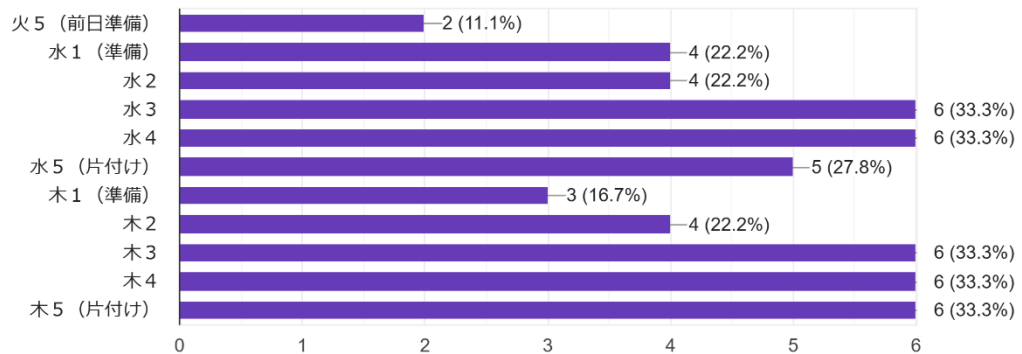
・場所は悪い。と思う。でも他に候補はあんまり。クラ館の開けたとことかは？あるいは天候のリスクと準備片付けの大変さあるけど、じててんみたいに外とか。

ー当日スタッフだった方ー

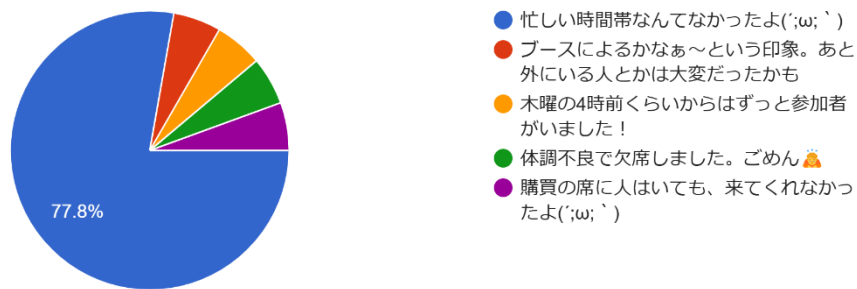
共済メンバーですか。(回答数：18 件)



シフトに入っていた時間帯を教えてね。(準備など、お手伝いの時間帯も含む)(回答数：18 件)



忙しい時間帯はありましたか。もしありましたら、「その他」にチェックを入れて時間帯を書いてください。(回答数：18 件)



参加者の反応、雰囲気などはどんな感じでしたか。(回答数：16 件)

- ・来た人はみんな楽しそうだった（特に防災リュックつめるゲームのコーナー）
- ・参加してくれた人は、防災バック詰め競争も VR ゴーグルも、かなり興味を持って参加してくれていたと思う。複数人で来る人が少なく、1 人か 2 人で来る人が多かったぶん、来た人はじっくり見てくれていた。
- ・リュックのやつは、ハテナみたいな感じでやり始める人が多かったけどルールは理解してた。
- ・真面目な感じ…？
- ・満足している感じはした。初知りな情報もあったと思う。でも盛り上がりには欠けた感じ。人がいなかったのもそうだけど、企画そのものもかな。なんか盛り上がってない感じがした。どちらかというと展覧会みたいな雰囲気だった。
- ・見てたひとは割と興味深そうにしてた！
- ・来てくれた人は楽しそうだったと思う。VR ゴーグルだけやって帰っちゃう人もいたけど。
- ・反応自体はまあまあ良さげだった気がする。
- ・二パターンに分かれていて、①めっちゃ真面目に参加してくれる人と②途中までで消える人という感じでした。参加するつもりじゃなかったのに、みたいな感じで消えていく人がいて悲しかったです。
- ・楽しんで参加してくれたと思う。ただ、アンケートは長い。
- ・参加者の反応は悪くなかった。ポスターブースで声をかけられて気まずそうにしてる人もいたので、あそこに係は立てなくても良かったのかなとか思ったり。ふらっと立ち寄りにくい感じは出てたかも。
- ・結構楽しんでもらえたんじゃないかなと思います。
- ・興味深そうにはみていた。
- ・食堂の出口でビラ配りしてたからわからないけど、ビラ受け取った人は「VR ゴーグルあるらしい」とか話してた記憶はある。
- ・购买前で呼びかけを行いましたけど、ただ声をかけるだけではあまり効果が無いように感じました。結構素通りの人とかいて、覗いてみようかというところまで至った人が少ない印象でした。。自分の声掛けが不十分だったかもしれないです、申し訳ないです 🙇🙇

ただ、NHK の方も一緒に声掛けをしてくれていて、いい意味で「しつこく勧誘」した方のうち一定数は（かなり人数少ないですが）ちゃんと企画場所に向かってくれている人もいました。

・参加してくれた人は楽しそう。入りにくいのかな…。

当スタで何か困ったことや改善してほしいことはありましたか。（回答数：10 件）

- ・場所がトラベルセンターだったのが、（こればかりはしょうがないですね…）
- ・2 日目 NHK さん来るの遅めで不安だったね。
- ・参加者少ない時間がちょっとつらかった。クイズにアンケート付けるの良くなって思ったけど、記述があると時間食うから急いでる人には回答してもらえたかあやしい。あと単純に問題が難しかったらしい。
- ・人の呼び込みどこでやればよかったんだ問題。やっぱ、インパクトなかったかな？
- ・よかったとおもいます！
- ・手で持てる看板が初日からあるとよかったかも。
- ・NHK さんが手持無沙汰なの申し訳なかった。
- ・2 限、3 限連続だと食堂に行く時間がない。
- ・自分のいる時間が人が少なすぎたのでもしいっぱい来てたら回ってなかったかも。
- ・北部購買前で情宣のためにいた当スタがちょっとぐでーとしてたのはよくなかったかもしれない。

参加者数は、1 日目 32 人、2 日目 30 人でした（VR ゴーグルの参加者は両日 36 人）。

企画の参加者数を増やすためのアドバイスを下さい！（回答数：37 件）

- ・食堂の一階で宣伝をする。
- ・情宣をがんばる。何かしら食堂で宣伝できないかな（むずい） ポスターおかせてもらえればいいけどできるかわからない。食堂に長時間たむろしてる人なんてどうせ暇なんだからすぐ上で企画やってるの知ってれば参加してくれそうではある。昼時よりもむしろ 3 限 4 限の時間帯とかいけそう。教養棟のビラ？営利目的じゃないから使えそうだけど効果がどれくらいあるのか。参加賞の反射板つけてる人けっこういてうれしかった。参加者につけてもらって「それなに？」みたいに情報が広がってくようなものを使うのも手かもしれない。ほかの人がもっていたら気になる魅力的なもの。
- ・実施場所を変える。オープンな場所で実施した方が参加しやすいかも？例えば北部購買の外で座って食べれるスペースとかでやるとか（難しいかもだけど）
- ・アナウンスを増やすトラベルセンターの入り口を目立たせる（美術館の企画展っぽい感じにするとか…??）
- ・気軽に出入りできるようにしたい。
- ・もっと情宣？宣伝のやつがクラスの LINE に流れてなかったのもっと総代さんに頼んだ方がいいかもです。

- ・食堂(2階いくとこ)入口前で宣伝。
- ・事前にもっと情宣？
- ・献血のように教養棟の一階で実施したりすると気軽に参加できる方が増えたのかなと思います！
- ・1年目のクラスラインに広告させる。
- ・北部食堂前で宣伝(タヌローあり)。
- ・短時間でも参加できます的な感じでアピールする！
- ・情宣を積極的に行い、企画の存在の認知に努める。情宣のポスターなどは、自然と目に入るような色合いを使う。
- ・個別で呼びかける。(基礎クラス LINE で呼びかけると、みんな既読無視になってしまうと思うので、サークルの新歓の勧誘くらい小集団に話しかけていく)。
- ・友人に勧めてみたら、もっと早く知っていれば行きたかったとの声を聞けました。その友人は水曜日が空いていたそうです。総代のグループラインに宣伝するタイミングを早めるなど、より早めの情宣が有効なのかなと思いました。そして自分では行けずすいませんでした
- ・みんなに見える、みんなが通るところでやる。
- ・北大に備蓄されてる非常食の中で期限切れそうなやつをついでに配る(あるのかな)場所を変える(北部食堂とか)。
- ・福利厚生会館の外で呼び込みする！
- ・VRをもっと押して情宣とか呼び込みしても良かったと思う。企画名に VR もあり！っていうのを入れるとか。
- ・ロコミ増やす。景品が豪華だったら広まる？
- ・やっぱ、タヌローかな。呼び込みしていて、企画や NHK でも釣れなかった。あんま興味ないのかなって。やっぱ「関係ない」感が否めなかった。うちらは組研の後だから、防災企画やりたいと思ったし、潜在的ニーズの発掘にも分かったけど、組合員にはそのコンテキストがないから、入りから躓いていた感じはする。あと、準備不足も目立った。3年目がいるうちにやりたかったかもしれないけど、この時期は健康万博とかの方が良かったかなって。急ピッチで進めてたし、俺も助けられなかった(ほんまゴメン)し、みんな考える事が十分にできなかった感じがある。最低ラインは満たしたけど、もっと深く考えるべきところだったかなって。あと、自分は関係ないって考える人が多いのは、日常的に地震に触れていないからかなって。阪神淡路大震災とかそういう節目なら少しは高揚するかもだけど、普通の日に防災といわれても、重要性は分かっているけど後回しになるかなって。
- ・目につくようなものをおく！タヌローとか！
- ・教養棟にポスター掲示できたりしませんかね？
- ・ビラを受け取ってもらうためにたぬろーを出動させる！あとビラだけでは受け取ってもらえないので、ティッシュと一緒に配る。
- ・景品を出す 人は景品に釣られる生き物。今回なら防災バッグとか。
- ・情宣頑張ろうね、、やっぱ場所が奥まっているからイベントやってる感がないのが大き

かったと思う。健康万博でタヌロー来てくれてたのは結構大きかったんだなーと実感しました。大学との関係で厳しいけど、2階に導線作ってトラベルセンターまだきて欲しいよね。

・X以外での情宣とか。正直効果が大きいという印象はなかった。あとはトラベルの位置が悪すぎる。

・情宣に力を入れる(インスタなどを活用して、企画準備や企画時の様子を写真に撮り投稿する)。

・タヌローを呼ぶ。共用等にもビラ貼ってみる？

・参加者特典、もっとすごいことやる(地震体験とか)、非常食試食会とか。防災グッズ使用体験とか？避難所スタンプラリー...渉外だるいし厳しいね。

・正直健康万博の2/3来ているなら上々だと思っていますよ。増やすのであれば、イラストや写真つきポスターを1か月ぐらい前から立て看板とかで掲示する方がいいのかもしれない。

・奥まった場所なのが良くないかも、イベントの様子が参加してない人に見える場所でやりたい

実現可能性を置いて、ビラ配りを前日とか前々日にできたらいいかも？当日に配られて時間が作れるかと言われると厳しいのではインスタでも情宣する？そもそものインスタの稼働率上げないと効果は薄そうではあるけど。

・場所を分かりやすくしたいなと思いました。トラベルでやるなら、トラベル前のスペースに立て看板いとか？福利厚生会館2階は大学の管轄だから置きちゃだめと慣例的に考えていますが、思い返すとトラベルの前にたくさん生協の宣伝物置いてあいるので、ある程度の範囲までは立て看板とか置いてもいいのではと思いました。置いても二日間くらいだし。

・わからん！！！！

・景品があって初めて北大生は動くぞ。

・印象に残る呼び込みや装飾した方がいいのではと思います。特に情宣面では、企画準備段階である会議の様子やブツづくりの様子なども写真として発信することで、企画本番よりも十分前から情宣をスタートすることができ、他の団体とは異なる内容になると思うので興味は引かれるかもしれません。

・普段からXとかインスタをガンガン動かして、見てくれる人を増やしておく。

<企画者側の気付いたことなど>

・トラベルセンターじゃないとこでやりたい、その方がいいと思っている人は多そう。ただ、実現可能な代替案がないのも事実…。

・セントラルキッチン（旧麺系売り場）の前のところでやるのは？

・学生団体が北食内で活動することに否定的（総代のつどいより）。

・トラベルで今後も企画を継続してやるのであれば、誘導・ポスターの掲示等、入念に考えなければならない。ぶっちゃけトラベルはデフォで人がほとんど来ないと言ってもいい。

・建物内でやる認識を改めてもいいんじゃないでしょうか。電子機器が使いづらいのが問題点かな。

・展示なら大学との連携は？無人型企画。展示系なら博物館などとアポとって、大きな場所を借りることができるのでは？学術的な内容にはなるけどね。場所によっては、博物館の企画展のスペースでできたりしないかな？可能性だけど。

・購買前のスペース使いたい。

・情宣のバリエーションを増やしたい。媒体とかじゃなくて、ポスターの ver.とか、SNS での情宣内容を、「いま〇〇企画中です。今回は企画内容を検討してみました！（できたら、どれをやってみたいですか？みたいなの）」

・企画立案段階から、情宣スケジュール（どんな内容にしたいか、どのタイミングで難解くらいしたいか）を組んでみようよ。

・総代にどうやってクラス LINE に送らせるかがどちらかという課題なのね。

・これからは GI 公式 LINE（春友祭のやつ）が制限あるけど使えるようになるね。（月 5 回まで流せるとか。1 回で流せる量はコメント 3 つ分。写真 1 枚は 1 コメントに相当。）ブロックされる心配は結構あるけど。

・健康系の企画はやっぱり結構需要がありそう。健康パック活用はまたしたいね。

・今後福利厚生会館を使って企画する場合は、北部購買の旧ベジチェックスペースを活用するのが必須になってくるのかなと思います。人が集まる所があそこしかないし。

<反省>

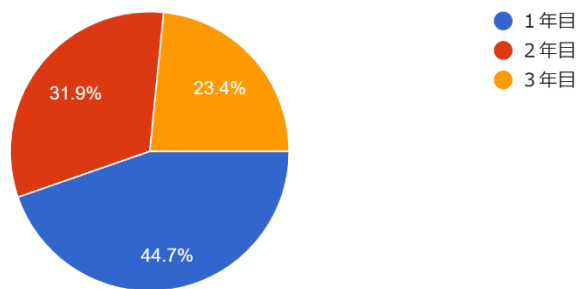
企画場所と情宣方法に言及している人が多い印象である。この 2 点に関しては今後企画を行う上でも、大きな問題点になるだろう。

企画場所に関しては、建物内で行う企画で現実的に使える場所として唯一挙げることができるのがトラベルセンターということになっている（お金、権利の事情による）。建物外での企画実施も含めて、今後検討していきたい。

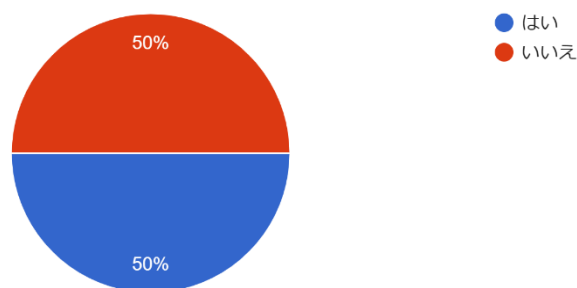
また、情宣方法に関しては、漏れが多かったものの、これまでの企画と比較すると力を入れていたと思う。X での発信（1 カ月前から）や総代向けマガジン、食堂でのアナウンス、ビラ配りなどがその例である。ただし、ポスターの掲示を行わなかったのは大きな過ちである。今後も情宣の方法やタイミングについては、念入りに検討していきたい。

●GI 内部向け企画目的達成度調査フォーム（回答数：47 件）

学年を答えてね。（回答数：47 件）



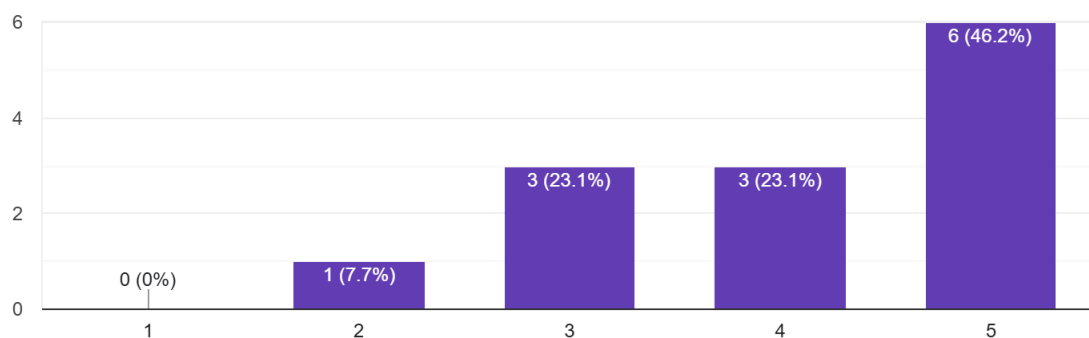
あなたは共済 2024 のメンバーですか。（2・3年目のみ）（回答数：26 件）



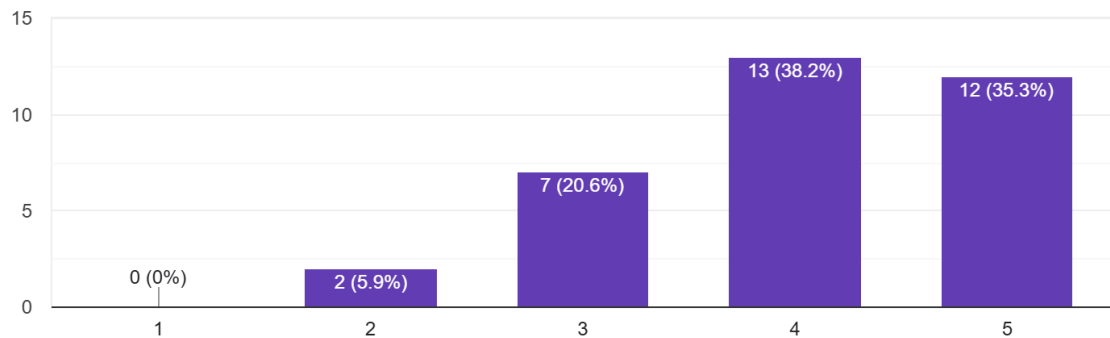
「目指すこと① 災害を自分事として捉え、防災に対する知識を楽しく身につけてもらう」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

（1：達成できなかった、5：達成できた）

<共済上年目（企画側）>（回答数：13 件）



<他メンバー>（回答数：34 件）



①の回答について、理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：13件）

- ・参加していないのでわかりません。
- ・参加した人は楽しそうに、また災害を自分事としてとらえていたと思う。ただ参加率の低さから、あんまり高評価はできないかな。
- ・参加者の雰囲気見てるとちゃんとできていたのかなと思います。
- ・これは正しいと思います。参加者にはこのように感じてもらえただろうと推測しますよ。参加者には。
 - ・NHKさまの協力をいただけたので、災害事例は結構教えていただいたなって。参加型企画は、機会を設けられたってことでは達成できているんじゃないですかね。
 - ・展示が面白く、ためになることも書いてあったから。
 - ・企画内容は参加者が十分楽しめるものだったと思います。ただ楽しいだけではなく、防災の知識などを仔細にわたって伝えることができたと思います。
 - ・十分に楽しめるように作れたとは思いますが、防災バックや、実際の地震の体験を、ゲームやVRで体験できるようにしたのはよかったところだと思います。
 - ・参加してくれた人には楽しく学んでもらえたのでは！外から見えてあまり楽しそうには見えなかったのかな…これはトラベルセンターの場所（奥まわって中の方があまり見えない）のせいもあるかも。
 - ・自分事として捉えてもらうために体験型企画を設けたのは良かったが、「自分事として興味を持ってもらい」、参加を検討してもらうには不十分だったように思います。
 - ・（自分は体験できていないんだけどさ、）災害に関する知識を様々な側面からアプローチできたのは良かったところなんじゃないかなと思う。バッグとかゴーグルとか楽しそうだし。ただ、もう少し「アソビ」の側面に重きを置いても良かったのかなとは感じる。楽しいものいっぱいだったかと言われると、そうではなかったように感じるの。
 - ・参加してもらえた方には少なくとも災害について考えるきっかけにはなったと思う。今後同様な企画をする際参加者が増えることに期待して3です。
 - ・体験型のブースを設けたことで、より災害や防災を自分事として考えてもらえたと思う。

<他メンバー> (回答数：31 件)

- ・参加した人たちは実際に防災バックを作ったり、ゴーグル体験をしたりと、学びがあったと思う。
- ・VR など面白い企画もあり、楽しく学んでもらえる内容になっていたと思うから。
- ・来てくれた人は災害に対して危機感を持ってくれたと思う。
- ・実際に参加して楽しいと思ったよー。
- ・漫画や VR などを通して、楽しみながら災害を身近なものとして感じてもらうことができたと思うからです。
- ・防災企画に来なかったということは、そもそも防災に興味がないことと同義であり、自分事に捉えていないのではないかな。
- ・参加できてなくて何もわからない。
- ・参加できなかったので詳しくはわかりませんが、普段あまり意識することのない災害のことについて考えてもらうきっかけにはなったのではないかなと思います。
- ・「楽しく」と「学び」を両立した場のデザインだったと思う。
- ・自分が参加して、楽しく学べたなと思ったから。ただし自分事かは微妙かもです。
- ・参加したら学んでもらえるかという観点では5の評価でよいと思ったので。
- ・なかなか意識できず。
- ・VR 企画などがあった。
- ・参加してないのでわかりません。
- ・災害を自分事として捉えるってとても難しい。
- ・やはり、顔色を見ればわかりました。
- ・参加してないです。すみません 🙇
- ・ごめんなさい、自分は参加してないですが、企画に参加した友達が絶賛していました。
- ・VR ゴーグル楽しかったです。
- ・参加人数そんなに多くなかった。
- ・参加者が少なかったような気がしますね。
- ・実際に家庭で防災の準備をするときにそのまま活用できそうなゲームを企画していたから。
- ・自分事としてとらえられたかは難しいが、実際の防災バッグなど実感できていたと思う。
- ・VR を用いた実演は、災害を自分事として捉えてもらうことにかなり貢献していたと思うから。
- ・『防災フェア』の実施で、購買などで防災をよく目にしたので、防災について意識しやすかった。
- ・参加者の方が実際にどう思っていたかはわかりませんが、ただ学ぶだけでなく楽しそうな企画が多かったと思います！
- ・防災バッグの中身を決めるやつがおもしろそうだったから。

・防災バッグ詰め込む企画とか VR など文字を読むこと以外で災害を意識できたのがよかったと思います。

・参加していた人がみんな楽しんでいた！！

・災害を自分事として捉えさせることがよくできていたと思ったから。

・災害を身近なものとして捉えられるような展示になっていたと思う。

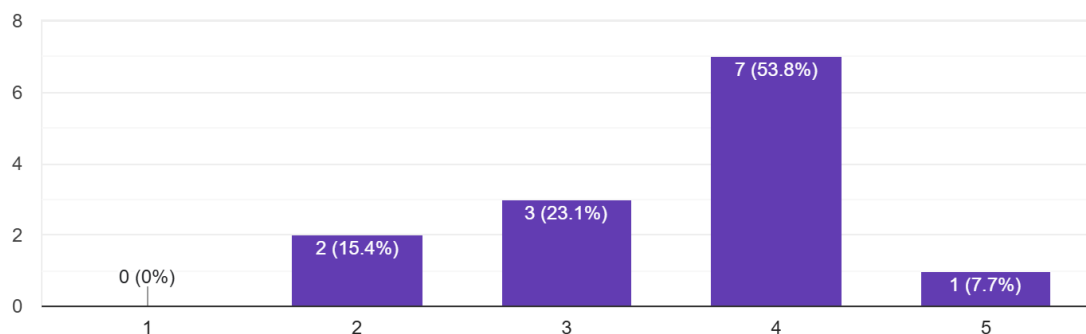
<反省>

参加者は、もともと防災を自分事として捉えていて参加してくれているという気もするが、企画を通して一層防災の意識を高めてもらえたと思う。しかし、参加者が少なかったことから明白だが、自発的に防災について学ぼうと北大生に啓発することはあまりできなかった。防災や企画自体に興味を持ってもらえるような伝え方を研究していく必要がある。

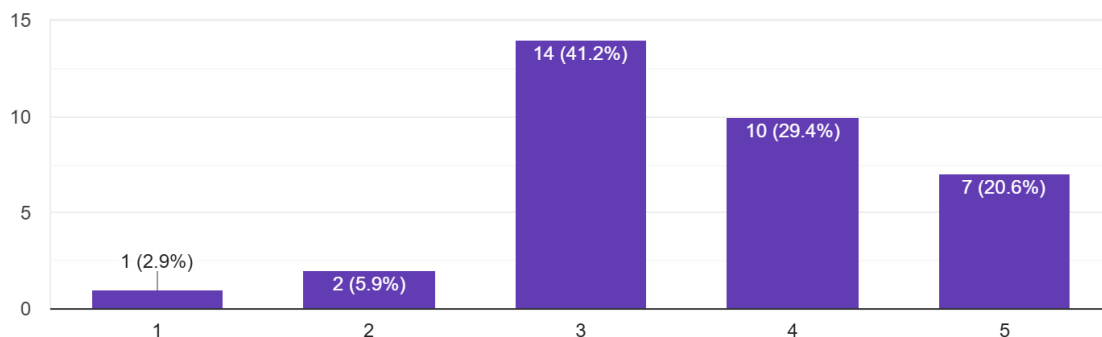
「目指すこと② 普段から準備をしておくことで、災害発生時に実践できるようにしてもらう」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

(1：達成できなかった、5：達成できた)

<共済上年目(企画側)> (回答数：13 件)



<他メンバー> (回答数：34 件)



②の回答について、理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：12 件）

- ・参加していないのでわかりません。
- ・防災バッグ企画などはそれに当てはまると思う。
- ・行えているのか微妙な気がしますのでちょっと辛め評価で。
- ・これは正しいと思います。参加者にはこのように感じてもらえただろうと推測しますよ。参加者には。
- ・防災バッグはいい案でした。
- ・具体的なモノを用意したことで災害時のためにどんなものをどれだけ備えておくことがいいのかをイメージできたから。
- ・ポスターの内容や防災バックの企画など、大学生でも手軽に始められるような内容を提供できていたと思います。帰宅後、実践した参加者はどれくらいいるかわかりませんがふとした瞬間に思い出してもらえるような企画ができたと思います。
- ・準備ができるように、購買で備蓄食料を売ったり、防災バックの作り方も説明できました。ただ、その後実際にやってくれたかどうかはわかんないよね。
- ・まだわかんないね、フィードバック次第。
- ・紹介だけでなく体験型にすることで、より身につけやすい形にはできたと思います。
- ・準備のしやすい道具の紹介や、準備してほしい保存食の販売などを行っていたから、工夫は見られたと思っているよ。売り上げも全くなかったわけじゃないはずだから、きっと少しはうまく行ってる。
- ・ローリングストックや防災バックなど、その日からできる防災をいろいろ紹介できた。実際に参加者の人が家でなにかやったかどうか分からないのが残念。

<他メンバー>（回答数：24 件）

- ・防災バッグ作る～って言ってた人が結構いたかなあ。
- ・みんな準備したのかなあ、、
- ・非常用持ち出し袋を用意していたり、用意したことのある人はごく一握りだと思います。今回の企画を通して、非常用持ち出し袋の必要性や袋には何を入れておくべきかななどを考える良い機会になったと思います。
- ・来てくれた人は一度貴重な体験ができるので数年後でも災害にいち早く反応できると思う。
- ・参加できてなくて何もわからない。
- ・十分に対策のきっかけになったと思いました！
- ・準備する方法は学んだけども、それで実際に準備しなきゃ...！となるかは正直、うーむ...結局は自分で用意しなきゃいけないので...難しいとは思いますが、なんか配ったらそれでもう「対策」にはなるかもしれない。
- ・みんなが企画に参加した後に準備したか（購買で防災グッズを買ったかなど）を測る手段がないので低めに。ただ、私はシフト後に買ったので3かなという感じ。

- ・同じかな。
- ・購買でもう少し多くの防災グッズを販売するべきだと思った。
- ・参加してないのでわかりません。
- ・結局準備するところまでいかなかったり。
- ・普段の行動に表れていたからです。
- ・参加してないです。すみません 🙇
- ・①と同じです、ごめんなさい。
- ・防災バッグに詰め合わせる企画がとても効果的だと思いました。
- ・行った人たちは体感できたのではないのでしょうか。
- ・対策を実践してもらえたかは怪しいけど購買ですぐに買えるようになっていたのはよかった。
- ・非常用持ち出し袋に必要なと思う物を詰める体験はとても良いが、体験後実際に袋を作成した参加者は意外と少ないのではと思ったから。
- ・リュックサックに荷物を詰め込む企画はすごく勉強になった。すごい実践的な知識も多かったので、日常生活に応用しやすかったと思う。
- ・命を守る行動は学べるが、非常用持ち出し袋は起きるかどうかわからないものにお金をかけることになって結構勇気がいると思ったから。
- ・非常用持ち出し袋よりもローリングストックのほうがハードルが低いと個人的に思うので、ローリングストックの実物の例とかあったほうがより実践しやすい防災になったかもです。
- ・防災の準備を促すことはできていたけど、普段から準備をさせることが少しできていなかったと思ったから
- ・ゲームに参加してくれた人には非常用袋について理解してもらえたと思う。防災グッズはそれなりに売れたようなので、実践にもつながったと思う。

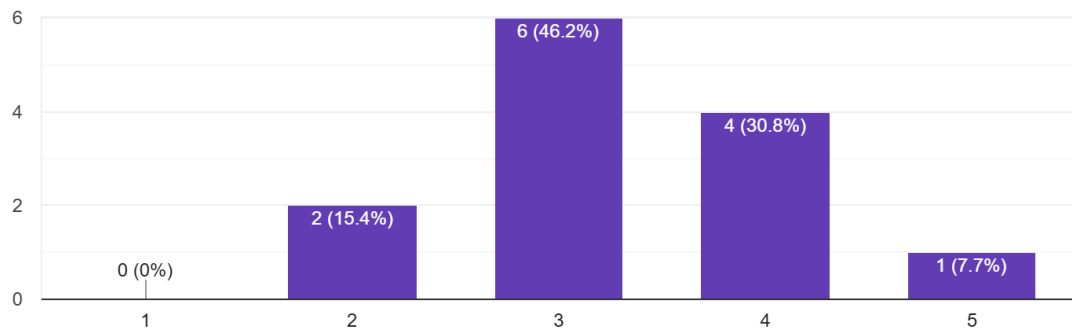
<反省>

参加者のその後の行動（防災バッグを用意した、非常食を買ったなど）を知ることができないので非常に評価しづらいのが、この項目である。今回、フィードバックができなくなったので、メールなどで参加者に行動の変化に関するアンケートを取ることもできなかった。参加者アンケートを見るかぎり、防災バッグを作成したいと思った人が多いようなので、行動の変化はともかく、心理の変化は生じたと言える。

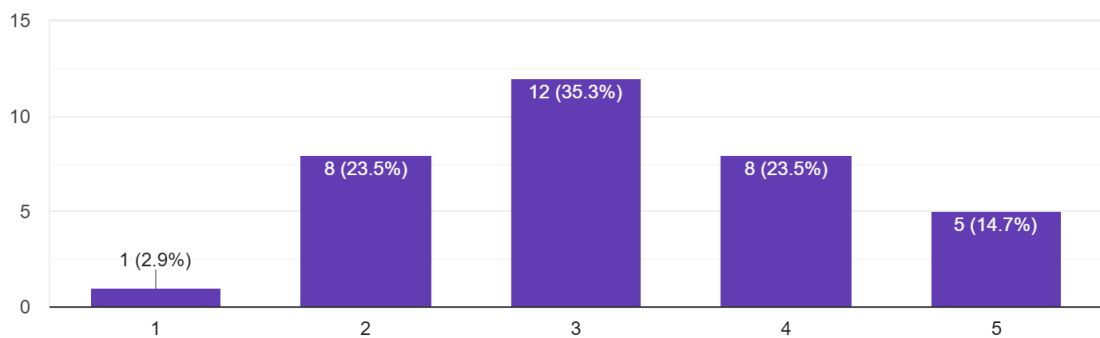
「目指すこと③ 防災の輪を拡げる」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

（１：達成できなかった、５：達成できた）

<共済上年目（企画側）>（回答数：13件）



<他メンバー>（回答数：34 件）



③の回答について、理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：12 件）

- ・参加していないのでわかりません。
- ・参加率が低いことを考えると、参加者がそれをどれくらい広めているのかは分からない。総代向けマガジンや総代公式 LINE、総代会 B-part でも発信したが、そこまでは見込めなかった。防災の輪は広がったのだろうか。
- ・伝えるものになったかどうか分からない気がします。こちらも渋めの評価で。
- ・ちょっと回答が難しいかなと思います。私たちの防災知識の高まりは言うまでもありませんが、参加者が周囲に防災意識を広めてくれたかどうかは、今後フィードバックで確認すべきかなあと。
- ・参加者少なかったらしいですね…。あと、NHK さんにきていただいた防災講習ってどうだったんですか？ GI 内でテストしましょう！（私は講習行けてない人）
- ・参加者が思ったより伸びなかったから。
- ・学生委員が防災の知識を身につけることは十分できたと思います。そこから参加者に伝えることで防災の輪は企画前より広げられたと思います。この項目を考えるにあたって当日の参加者数がどうしても引っかかると思いますが、それを鑑みても十分防災の輪は広げ

ることができたと思います。ほんとはもっと来てほしいところではあったけど、少なくとも60人分は広がってるしね。参加した人が周りにもこういうのあったよーって伝えやすい内容の企画ができていたと思うので高めに評価させてもらいました。そも今回の企画をやったってことでこの項目はかなり高い評価をつけていいと思います。

- ・自分たちが学ぶことはできたけど、そこからうまく参加者からそうでない人に伝わったかと言われればという感じで。

- ・事前に学習会もやったしね。周囲の人に伝えることは出来たのかな、そこはわからないな〜。

- ・実際よく分からないです。

- ・防災の知識を手に入れる機会はかなり多かったと思う。いいね。

- ・学生委員内で防災の知識を得る機会があったことは良かったと思う。また、NHKさんに頂いた知識を元に企画も展開できたと思う。あとは参加者の数の問題かなと思います泣

<他メンバー> (回答数：28件)

- ・参加者少なかった。

- ・ごめんなさい、参加者さんがどこまで周囲にこの企画のこと話したか分かりづらくて…無難につけさせてもらいます。

- ・広がったのかは私たちにはわからない。

- ・伝わったのかなあ、、、

- ・今回の企画で体験したことは、友達や家族に話して伝えたいような内容だったと思うからです。

- ・参加人数が少ないから広がりも弱くなってしまう。

- ・参加できてなくて何もわからない。

- ・もう少し参加者数が増えとなおグッド。

- ・NHKの人がわざわざ来てお話をしてくれたから。

- ・学生委員から広めるのは手っ取り早い手段でよいと思います。ただしフィードバックもないので実効性については不明...

- ・参加者が少なかったので、輪が広がったとは言い難い。少なくともGI内では広がったと思うけども。

- ・なかなかできず。

- ・参加してないのでわかりません。

- ・意識を高めるところまではいったかも。

- ・顔を見ればわかります。

- ・参加してないです。すみません 🙇

- ・参加できなくてごめんなさい。

- ・その意図を参加者があまり分かってなかったのではないかと思ったから。

- ・参加者が少なかったのではないのでしょうか

- ・自分は今日から防災に参加できませんでしたが、NHK さんの話を聞いて、私と私の家族の防災に対する知識が増えたから。
- ・参加者すくない。
- ・「今日から防災」のビラを見て、友人と防災の話になったから。
- ・結構一人の人が多かった印象。
- ・学生委員が防災の知識をより深く身につけられる機会を設けてもよかったのかなと思います。
- ・普段は話題にならなかったとしても、実際に災害が起きた時に参加者が周りの人に知識を共有してくれそうだから。
- ・自分自身も周りの人に共有することができなかったです。悔やまれます。
- ・楽しく活動ができたことで、思い出話のように親や友人に伝えることができると思ったから。
- ・1人で来ていた人が多く、共有してもらえたかは微妙だと思うから。

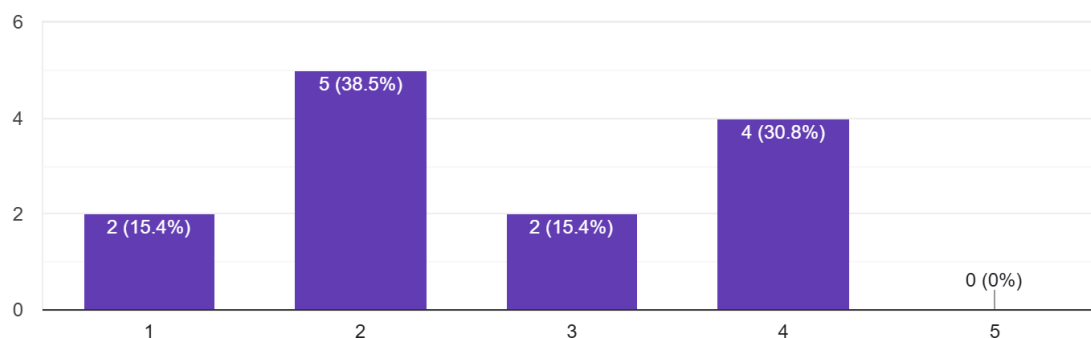
<反省>

防災講習会を行ったことで、共済メンバーから GI 内へ防災の輪を拡げることはできたと思う。しかしながら、参加者を通して、参加者の周囲の人へと防災の意識を伝えられたかは分からない。そもそも参加者が少ないので、広範囲に防災の輪を拡げることはできなかったと思う。

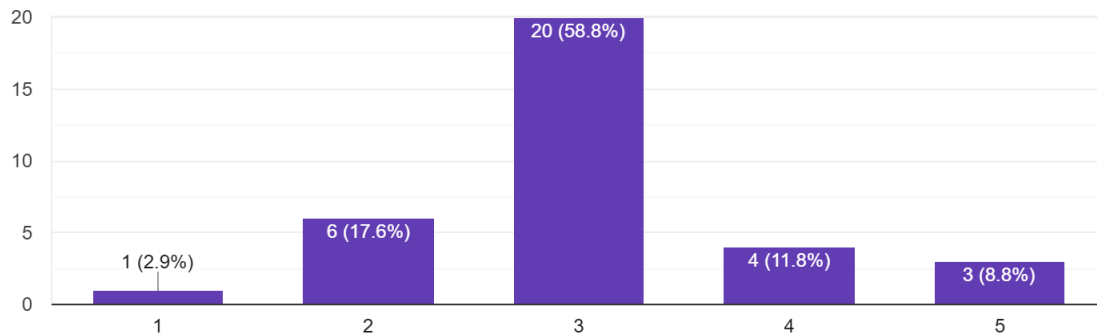
「目指すこと④ 学生組織委員会（以下、GI）について知ってもらおう」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

（1：達成できなかった、5：達成できた）

<共済上年目（企画側）>（回答数：13 件）



<他メンバー>（回答数：34 件）



④の回答について、理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：12 件）

- ・参加していないのでわかりません。
- ・あんまり、GI の認知度 UP というより、企画参加に重心がいったしまった。あまりできなかったかな。
- ・参加者数的に達成できたとは言にくいと思います。もう少しどうにかできたかも。
- ・ちょっと内輪が多かったですね！！NHK さんと繋がりができたので○。
- ・参加者少ないのもあるし、あんまり関われてないってのがあってわからないかも。
- ・少なくとも参加者には知ってもらえたと思います。参加していない人にもいろんな意味で知ってもらえたかと。
- ・GI です！とはあまり言わなかった気がするのでこの評価に。
- ・来てもらうことに必死であり GI の情宣までできなかったのかな、という印象。
- ・あまり全面に押し出して情宣してた記憶が無いんですが…。
- ・いつも通りってイメージですね。
- ・参加してもらえた人には知ってもらえたのかなと思います。
- ・今回はそんなに GI を全面に押し出してない気がする。

<他メンバー>（回答数：27 件）

- ・あまり gi アピールはしていなかった。
- ・タヌローとか呼んでもっと GI 感出してもよかったかも。
- ・あんまり「学生委員がやってます！」ってアピールできなかったかも…。
- ・NHK さんも来てたから、学生ボランティア的な感じに見えてた気がする。
- ・二日間とも企画の参加者は少なかったが、ビラをはけさせることはできたので知名度自体は多少上がったのではないのでしょうか。
- ・どの活動でもそうですが、この点については 1 番怪しいくなんともいえません。
- ・NHK という大きな所とコラボしたから、GI の名称は相対的に弱くなったかも。参加者が少ないのも大きな要因。
- ・参加できてなくて何もわからない。

- ・正直、あまり GI を押し出してはいないかな...と思います。他の企画に比べても、NHK と協力しただけあって、GI 感は薄めだったかな。
- ・そもそもの参加者数が少ないので、④も高い評価はつけにくいかなと。
- ・人数が、、、
- ・参加してないのでわかりません。
- ・今回の企画の影響はわからないが、GI のことを知らない人は周りに多いと感じる。
- ・普段の行動に表れていたからです。
- ・参加してないです。すみません 🙇
- ・自分が所属している各団体の LINE に流しまくりました、どれくらい効果あったのか分からないですが…
- ・今回も GI 主導ということがわかりにくかったと多少感じたから。
- ・宣伝良かったと思う。
- ・GI 以外で参加している人を周りで聞きませんでした。よって GI を広める事にはあまりつながらなかったと思います。
- ・各所(製作物など)に GI の名前があってよくみればこれなんだ？と思うけどまあどこがやってるかはあんまり気にされてなかったような。
- ・学生委員会というよりは生協のイベントとして見られていたのかなと思ったから。
- ・参加者が少なかったのも、これは厳しかったのではないのでしょうか。
- ・もともと GI 知ってる人じゃないと企画を知らないことが多いように感じたから。
- ・学生がやってる感があった（みんな知ってる顔だから？）ので、生協の中の学生が運営する組織だろうなみたいな印象が与えられてたらいいいと思いました（願望）
- ・クラスラインに流れてきた防災企画を通して、知ってくれていた人もいた！
- ・共済が GI と関連していることを伝えることで、認知させることができたと思ったから。
- ・NHK の方が印象に残ってそうだから。

<反省点>

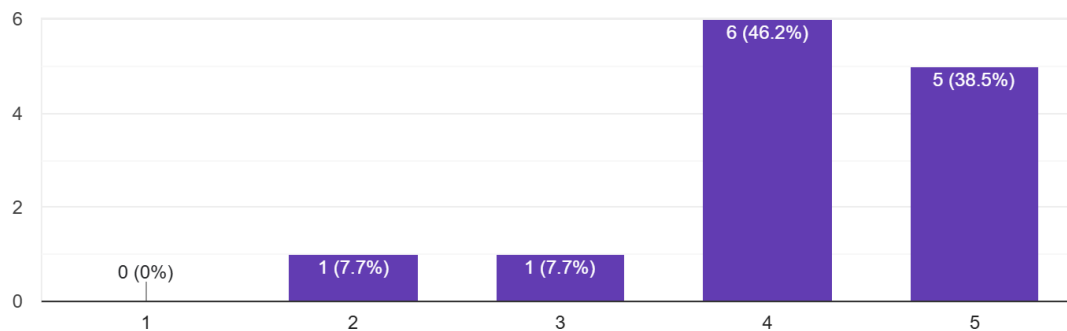
企画の宣伝において、GI が行っているということを前面には出さなかった。そのため、NHK の方の印象が強くなっていたかもしれないが、逆に大きな企業と連携したことで興味を持ってくれた参加者もいたようだ。

また、参加者アンケートを見ると、GI のことをすでに知っているという人が 3/4 いたもので、新しく GI のことを知った人は少なかったように感じる。今後企画を行う際は、GI が主催しているということをより強調するポスターや宣伝文言を考えて情宣を行っていきたい。

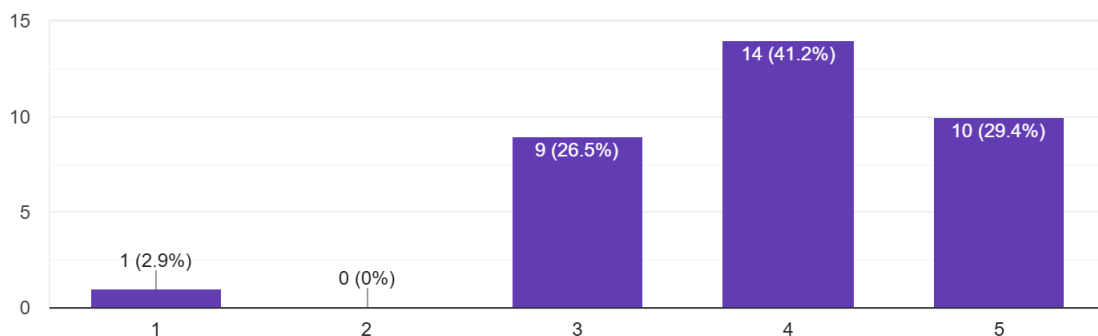
「大切にすること① 正確な知識・情報をまずは自分たちが身につけ、伝えていく」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

（1：達成できなかった、5：達成できた）

<共済上年目（企画側）>（回答数：13 件）



<他メンバー>（回答数：34 件）



①の回答について、理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：12 件）

- ・参加していないのでわかりません。
- ・NHK さんからの説明をしっかり受けることができた。ただ、1 年目とかはその説明が上の空になっている感も否めなかった。
- ・正確な情報は身につけることができたと思います。頑張った。
- ・企画側以外の意見の方が大事な気がする。
- ・わたしは未熟です。意識低いです。
- ・ブツづくり際に、各人、信頼できる情報ソースをもとにそれぞれのブツを作っていたので十分達成できたと思います。その情報をもとに参加者がわかりやすい形にできていたのでは。あと、NHK さんの講習会も含めてめっちゃ達成できてたと思います。
- ・ちゃんとそれぞれ、ポスターの人は調べて作成したし、NHK の講習も受けたので良いでしょう。
- ・ほとんどと言えるくらい多くの情報の提供元だった NHK は信頼のおける情報提供元だと思うので。
- ・多くの人がポスター作成等に関わり、その過程で正しい知識かどうかを意識して情報を集

めていたと思います。ジャンルの的にも、公式が正式に発表しているものが多いので、あまり心配はなかったように思います。

- ・情報を手に入れる機会は多かったように感じる一方で、フィードバックして定着させるための動きというところまでは回らなかったのかなと。取捨選択の関係なので仕方ないと思う。

- ・様々な情報源にあたり正確な情報は伝えられたかなと思います。

- ・NHK の講習会やブツづくりを通して、防災に関する知識は

<他メンバー> (回答数：27 件)

- ・知らない防災情報も多かった。

- ・事前学習会でしっかり学びました！！

- ・NHK さんの講習とか。

- ・組織の学習会で知識は身についたとしても、参加者に伝えたわけじゃない。

- ・わたし自身は当スタや参加者として参加することができなかったのですが、GI の組織中に防災についての情報は知ることができたからです。

- ・人が来ないのでスタッフも VR ゴーグルや荷物入れ体験ができたので、知識は身に着けたと思う。

- ・参加できてなくて何もわからない。

- ・信頼できる情報は確実に出来ていたと思います。

- ・学習会などを行い、当スタさんもしっかりお仕事していたので、情報面は大丈夫だと思います。

- ・NHK の方に組織に来ていただき知識をつけることはできたと思う。伝えることができたかはわからない。

- ・NHK さんとの強力でできたのでは？

- ・参加してないのでわかりません。

- ・NHK の人の話がわかりやすかったからです。

- ・参加してないです。すみません 🙇

- ・参加出来ませんでした、ごめんなさい。

- ・ポスターなどを通して理解できたから。

- ・防災意識低いです、ごめんなさい。

- ・NHK さんの紹介や防災企画の説明会などでかなり防災についての知識を深めることができたのではないかなと思っています。

- ・事前学習があったから。

- ・シフト入った人はわかってそう。

- ・分かりやすい説明を体験者にできていたと思う。

- ・NHK の方による講習など開催されていたので、それなりに達成できてたと思います。

- ・すみません、参加出来ませんでした。

- ・NHK さんと勉強会したのがよかったと思います。
- ・シフトに入った最初のほうは、知識が甘かった…
- ・組織で行われた NHK の防災についてのレクチャーを受けている人が多かったから。
- ・防災バッグ以外は未だに知識がないので。

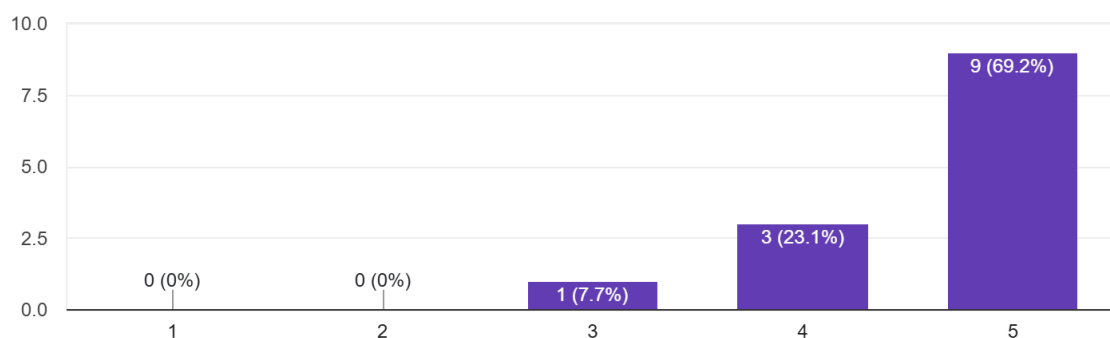
<反省>

防災講習会を通して正しい知識を身につけたり、防災に興味を持ったりすることができていた印象。ただ、真剣に話を聞いていたかどうかや講習会への参加の有無によって、防災への意識の差は少なからず生じたと言える。当日スタッフに関しては、仕事内容を伝えたり、掲示ポスターの写真をあらかじめ見てもらっていたりしたので、知識を持った状態で参加者に対応できていたと思う。今後企画を行う際は、GI 全体（スタッフかどうかに関係なく）にポスターなどを見せて、企画に対する意識を高めてもらえれば、なお良い。

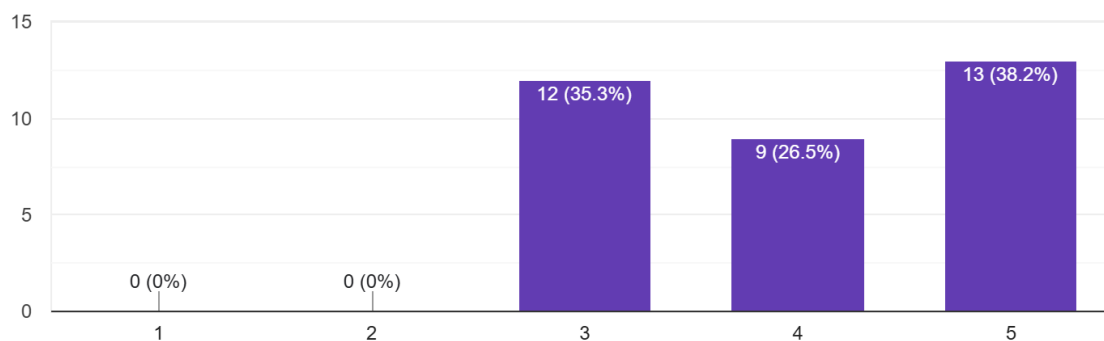
「大切にすること② 外部との綿密な連携を行う」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

（1：達成できなかった、5：達成できた）

<共済上年目（企画側）>（回答数：13 件）



<他メンバー>（回答数：34 件）



②の回答について、回答の理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：13 件）

- ・自分は渉外やってなかったけど、しいちゃんがすごく丁寧にやっていた印象。職員さんやNHK さんからの心証もよかったのではないのでしょうか。
- ・参加していないのでわかりません。
- ・よく頑張りました。
- ・これ以上はできないだろうぐらいでできていたので。もしできてなかったとしても「協力を取り付けることができた」ということそのものが評価できるものだと思います。
- ・素晴らしかった！ありがとう日本放送協会。
- ・CAP さんが主にめちゃくちゃ頑張ってくれてました。ありがとうございます。
- ・NHK の人々との渉外お疲れ様でした。
- ・この項目は当日の運営もあるけど、渉外関連をメインとして回答しました。渉外に関しては、本当にしいちゃんが丁寧かつ素早くメールのやりとりをしてくれていたのも、とっても良かったと思います。見ていてとても頼もしかったです、本当にお疲れ様でした。連携でちょっと改善点を上げるとするなら、当日の参加者呼び込みをNHK さんにも手伝ってもらったけど、もう少しやりようはあったかなーと思います。
- ・自分たちは関わるができなかったけど、しっかりしいちゃんがやってくれてたのでOK です。
- ・しいちゃんがメール頑張っている様子は見えていたので。
- ・今回はNHK さんが間に入って特殊な連携が必要だったと思います。担当者が頻繁にメール確認していたり、会議の話題として毎回のようを持ち出したりもしていたので、大きな問題はなかったと思います。
- ・綿密すぎて笑える。卍 最強 卍 無双 卍 天衣無縫 卍しいちゃん 卍 って感じ(?)。
- ・外部との連携についてはしっかりできてたのではないのでしょうか。

<他メンバー>（回答数：21 件）

- ・気まずかった。
- ・どんどん話が進んでてすごいなーと思ってた。
- ・できてたと思う！
- ・あんまり報連相に関わってないけど、2 日目はNHK さんが来るのが遅いのをしいちゃん心配してたので。
- ・nhk さんと協力しつつやり遂げていたからです。
- ・NHK という大きな組織と対等的に交渉できたのは素晴らしい実績だと思う。
- ・参加できてなくて何もわからない。
- ・わかりません。ごめんなさい。
- ・NHK さんと協力して企画を行うなど、広く周りを巻き込んで企画を行うことができた

思う

- ・あまり内部のことは知りませんが、大きなミスはたぶんなかったんじゃないと思うので、大丈夫だと思います。
- ・少なくとも外部から見るとできていないという風には感じなかった。
- ・よくわからないので。
- ・参加してないのでわかりません。
- ・顔を見ればわかります。
- ・参加してないです。すみません 🙇
- ・分らないです。
- ・準備から本番まで潤滑に連携が取れていた気がするから。
- ・NHK さんと協力できてたと思う。
- ・出来ていたのではないのでしょうか。情報共有に一切かかわっていないので、分からなくて3にしましたごめんなさい。
- ・NHK さんとよく会議してた印象があります。
- ・当日しか見ていないけれど、NHK さんとの連携は取れていたんじゃないかなと思う。

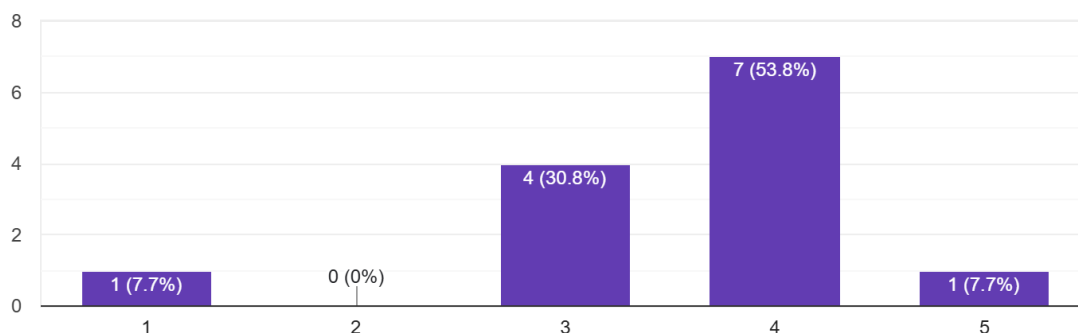
<反省>

メールなどの報連相には今回かなり力を入れて取り組んだつもりだったので、大きな問題も生じず、大変良かったと思う。当日の運営などを NHK の方にかなり手伝っていただいた部分があったので、もう少し GI も気を利かせて動けるようにできればさらに良くなるだろう。

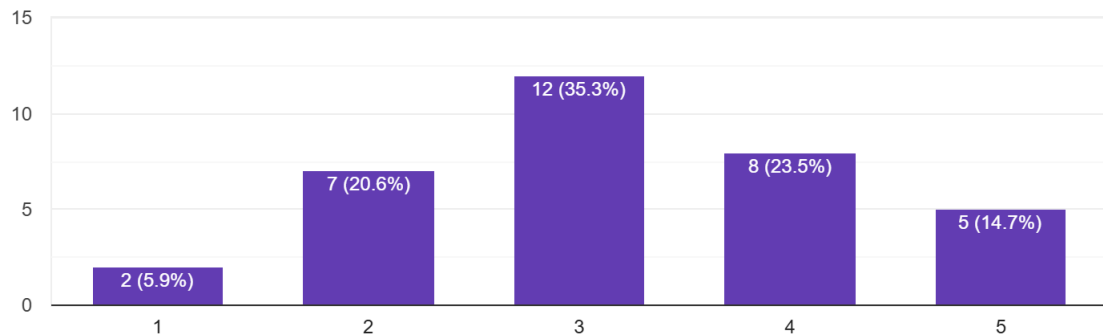
「大切にすること③ 計画立てて※情報の宣伝（以下、情宣）を行う」の達成度として当てはまると思うものを選んでください。

（1：達成できなかった、5：達成できた）

<共済上年目（企画側）>（回答数：13 件）



<他メンバー>（回答数：34 件）



③の回答について、理由を教えてください。

<共済上年目（企画側）>（回答数：12件）

- ・最初にやろうということになった情宣はきちんとできたと思う一方で、企画が近いときは SNS 情宣以外を何か(思いつかないけどビラ配りとか)やったらよかったかなという。
- ・参加していないのでわかりません。
- ・計画立てた情宣はできたかと思います。実際、情宣担当者は SNS を通じて、定期的に発信しているのを見ました。その効果についてはここでは勘案事項ではないので、評価しません。
- ・ごめんなさい。これに関しては私が全面的に悪いので叱責は私に……。
- ・"できたか"については高得点だと思うが、"効果があったか"は別で検討すべきかな…。
- ・素晴らしい。
- ・計画性を持った情宣はできたかと思います。一方で、もっと効果的に情宣をすることもできたと思うので、4 にさせていただきました。
- ・まあまあできたかとおもいます。
- ・ちょっと計画通りじゃなかったところもあったのかな…？でもおおむね計画立てて情宣を行うことは出来たと思う。情宣が結果につながったかは、、
- ・あまり記憶がなく、媒体も持っていないので、実感がわかりません。
- ・情宣は他企画と比べても多かったと思いますよ。手ごたえがあまり得られていないとしたら、もっと増やしてもいいのかも。
- ・X ではしっかり計画的に情宣できたかなと思います。

<他メンバー>（回答数：25件）

- ・Twitter で呼び掛けたりしていたから。
- ・SNS ののび悪かった！！！！（涙目）
- ・結構情宣してたと思います。
- ・1 日目の反省を活かして 2 日目は POP 使って宣伝してた。でも VR もっと推して良かったと思う。

- ・情宣に問題があったのか、場所に問題があったのか...
- ・この点については、私自身情宣をあまり目にしていないからというだけです。
- ・宣伝は上手にやってくれたと思うが、①2階で呼びかけても、そもそも2階に人が来ない。②場所が分かりにくく、入りづらい③前回の成功は景品(ガラポン)の力が大きかった。金も手間もかかることは承知の上で、食堂の一部を借りたい。昼休みの混雑後(13時以降に移動)なら交渉可能かも。
- ・防災企画に関する情報をGI外で見た記憶がないから。でも基本学部棟にしかいない人間なので、北部でやってることの情宣が回ってこないのは割と仕方ない気もする。
- ・情宣は正直、もうちょい頑張ってもよかったなと思っちゃうかもです。なんかGIメンバー目線ですら、ヌルッと始まったな感というか...早めから情宣始めるのがいいかも。
- ・いつもより早めから情宣してたと思ったから。インスタは動いてなかった気がするので、満点評価ではないかな〜。
- ・人数が、、
- ・総代を通してクラスLINEで情宣できた。
- ・参加してないのでわかりません。
- ・顔を見ればわかります。
- ・参加してないです。すみません 🙇
- ・LINEに流すのは頑張りました、
- ・あんまり人が来てなかった...
- ・情宣よかった。
- ・参加者が、、、少ない、、、、、、
- ・ぜんぜんきてくれなかった。
- ・北部食堂出口でのビラ配りがかなり効果的だったと思ったから。
- ・締切など守ってできていたのではないかと思う。
- ・もっと早く知っていれば参加したかったという人が周りにいたので、より早いうちから情宣しておくとうよかったと思います。
- ・結構知らない人が多かった印象。
- ・情宣を基礎クラLINE含め色々なところでしていたが、それでもあまり生徒に認識してもらえていなかった。

<反省点>

結果を見ると、共済上年目とそれ以外で若干の認識の齟齬が生まれている(共済上年目の最頻値は4、他メンバーの最頻値は3)。今回の企画はこれまでの共済の企画よりも情宣に力を入れて取り組んでいた。しかし、そのことが周囲に伝わっていない。これは、情宣を目にする機会が思った以上に少なかったということである。情宣の方法や時期を考え直す必要がありそうだ。

9. おわりに

本企画の反省点は今後、企画を行う上で改善を目指すこととする。